

5-2 停車場計画

5-2-1 一般中間駅

列車計画、駅の発着輸送量等を考慮して、駅の配線等の標準を次のように計画する。

- (1) 旅客のみ扱う中間駅の配線は本線含む着発線3線である。ホームは相対ホーム1面と島式ホーム1面である。(図5-2-1)

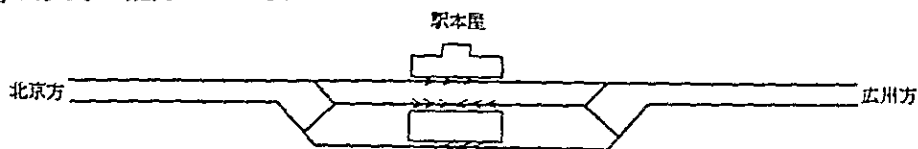


図5-2-1 中間駅平面図(旅客扱のみ)

- (2) 旅客・貨物を扱う一般駅の配線、源潭駅の例を図5-2-2に示す。

貨物積卸場が左側にあり、本線含む着発線5線、旅客扱いは駅本屋側相対ホーム1面と島式ホーム1面で取扱う。

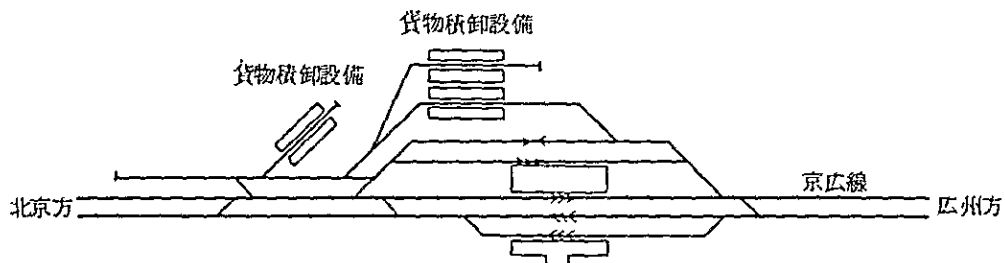


図5-2-2 旅客・貨物扱中間駅平面図(源潭駅)

- (3) 旅客駅の線路、乗降場と車両との関係を図5-2-3に示す。

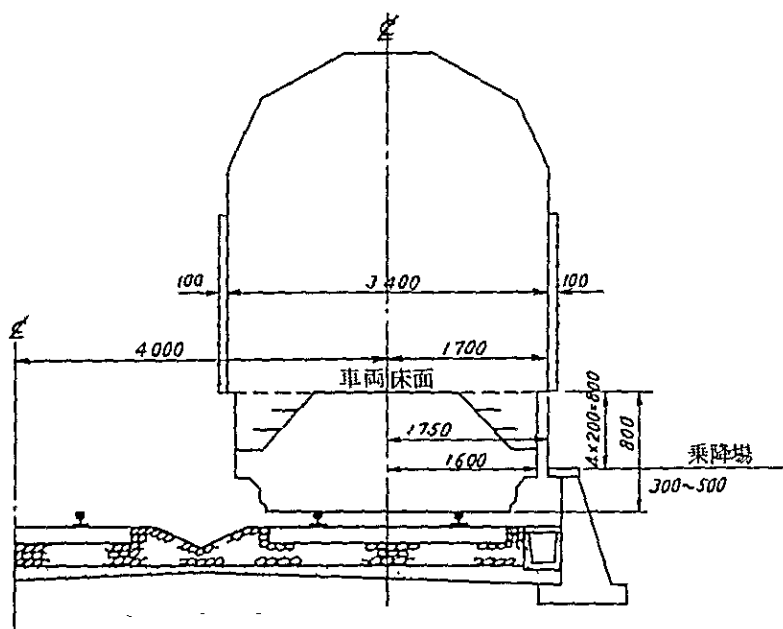


図5-2-3 乗降場標準図

5-2-2 貨物駅

貨物駅の例として広州ターミナルの範囲にあり広州市の発着貨物を取扱う新設の大朗駅（130万トン／年・取扱能力）の配線略図を図5-2-4に示す。

着発線5線、積卸線7線、留置線2線である。

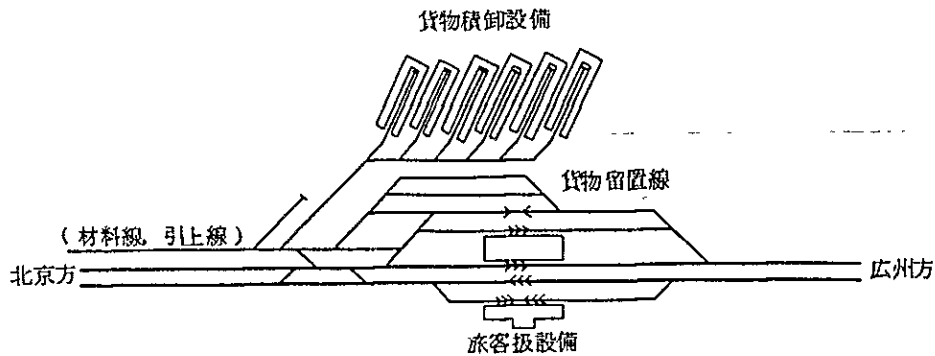


図5-2-4 貨物駅（大朗駅）

5-2-3 地区拠点駅

郴州、韶関両駅は、客貨取扱駅であるが駅地区内に機関区、ヤード等の輸送設備があり、今回電化区間の電気機関車の基地となる。

(1) 郴州駅

郴州地区の着発貨物・専用線貨物の需要に対し、現郴州駅北3km付近に郴州北ヤードを新設する。また郴州・韶関間電化に伴いEL折返機関区を新設する。

現在：着発線	7線	ホーム	1面
引上線	1線	旅客乗降人員	9,000人/日
積卸線	7線		
専用線	3線		
貨物扱量	150万ト/年		
計画：郴州北ヤード（新設）		郴州駅（改良）	
着発線	8線	着発線	5線
仕訳線	7線	ホーム	1面新設
積卸線	3線	客留線	3線
引上線	2線	積卸線	5線
貨物扱量（1990年）		機関区（EL折返）新設	
300万ト/年		旅客乗降人員（1990年）	
（郴州駅含む）		14,000人/日	

郴州北ヤードは郴州地区の炭鉱専用線貨車、一般貨車及び郴三線着発貨車の操配を行う地区ヤードで、この計画設備概要を図5-2-5及び表5-2-1に示す。

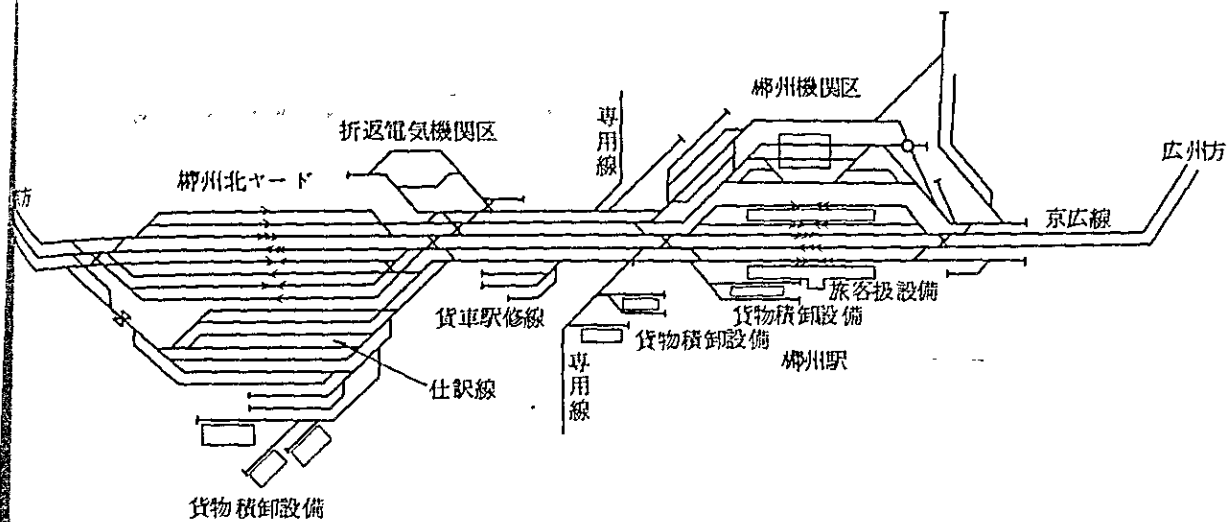


図5-2-5 柳州地区計画略図

表5-2-1 柳州北ヤード設備の概要

構内軌道延長		18.5 Km
線数	到着線	有効長 8線(850~940m)
	出発線	
	仕訳線	7線(810~870m)
ハンプ		簡易式1ハンプ
構内用地面積		35万 m^2
土工量		土工 209万 m^3 石工 15万 m^3
分岐器組数		9番・37組 6番・7組 SC等・7組
取扱量	分解能力	1,800両
	組成能力	1,300両
旅客駅		柳州駅
貨物駅		積卸線3線
機関区		折返EL機関区, 現駅DL, SL機関区
車両区		貨車検修

(2) 韶関駅

韶関地区の着発貨物の需要に対し、貨物駅を新設するとともに、現韶関駅のヤードを増強する。
 柳州・韶関間電化に伴ないE L機関区を新設する。

現在：着発仕訳線	5線	ホーム	1面
引上線	2線	旅客乗降人員	8,400人/日
機待線	1線		
客留線	1線		
積卸線	6線		
貨物扱量	210万ト/年		
計画：着発線	9線	ホーム	1面新設
仕訳線	8線	機関区(E L)	新設
引上線	2線	旅客乗降人員(1990年)	
機回線	1線		
客留線	1線	13,000人/日	
貨物駅新設	積卸線	10線	
	貨物扱量	(1990年)	420万ト/年

韶関貨物ヤードは、韶関地区の炭鉱専用線貨車、一般貨車の操配を行う地区ヤードで、その計画設備概要を図5-2-6及び表5-2-2に示す。

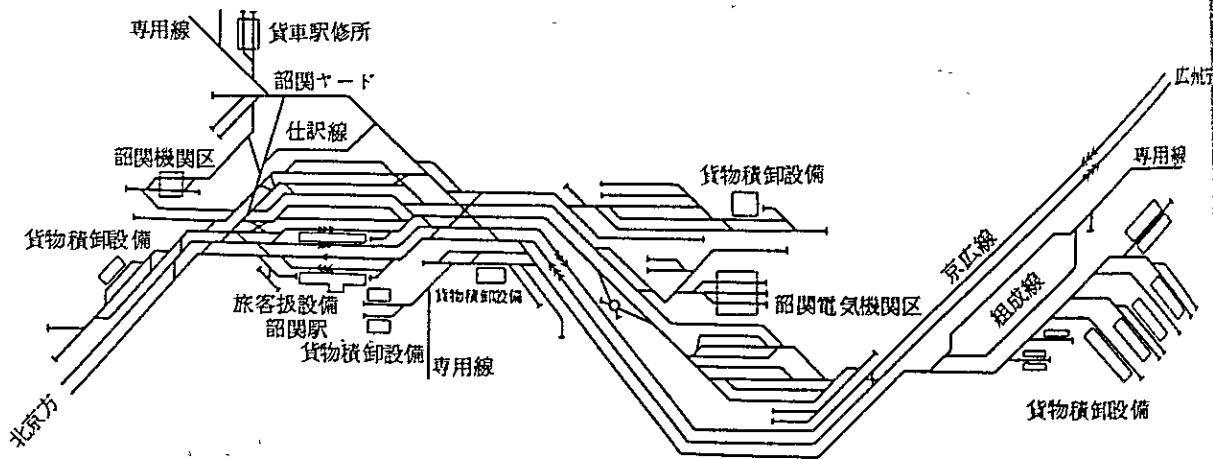


図5-2-6 韶関地区計画略図

表5-2-2 韶関貨物ヤード(旅客駅含む)設備の概要

構内軌道延長		21.5 Km
線 数	到着線	有効長 9線(850~1,200m)
	出発線	
	仕訳線	8線(750~810m)
仕訳方法		平面入換
構内用地面積		19万m ²
土工量		土工 165万m ² 石工 0.2万m ²
分岐器組数		12番・2組 9番・48組 6番・9組 SC等・3組
取扱量	分解能力	1,400両
	組成能力	1,300両
旅客駅		韶関駅
貨物駅		現韶南駅に横卸線10線
機関区		EL機関区, SL機関区
車両区		貨車駅修所

5-2-4 ターミナル駅

(1) 衡陽ターミナル

1) ターミナルの位置及び範囲

衡陽駅は、京広線の湖南省における主要駅で湘桂線の分岐駅であり湘江の中流東岸で、湘江支流の耒河流域のなだらかな丘陵地帯に位置している。この付近の標高は、55m~110m程度である。

衡陽ターミナルは、衡陽駅を中心に北は京広線の茶山坳駅付近から、南は周家坳駅付近(北京起点1,744km500~1,766km300)までL=21.8kmの区間と湘桂線の湘江の手前までの区間からなる。

このターミナルには、茶山坳駅、衡陽駅、周家坳駅、衡陽機関区及び衡陽車両区などが含まれる。ターミナルの概要を図5-2-7に示す。

2) ターミナルの現状及び問題点

a) ターミナルの現状

〈衡陽駅〉 旅客乗降人員；約15,000人/日	貨物取扱量	； 230万ト/年	
ホーム数	； 2面3線	(発；60万ト, 着；170万ト, 専用線含む)	
(相対1面, 島式1面)	ヤード取扱量	； 2,850両/日	
(湘桂線含む。)	簡易ハンブ	； 3箇所	
小荷物着発	； 1,050個/日	下り着発線	； 6線
” 継送	； 2,200 ”	上り ”	； 10線
		仕訳線(下り)；	12線(留置含む)
		仕訳線(上り)；	11線
		貨物積卸線	； 11線
		(小口扱線3線含む。)	
		専用線	； 2線

〈衡陽機関区〉 S L；客貨小運転列車用

〈衡陽車両区〉 F C；検修

P C；整備

b) 衡陽ターミナルの現状の問題点

- (イ) 衡陽駅の着発線容量
- (ロ) ” 貨物列車組成能力
- (ハ) ” 線群の有効長及び線路中心間隔
- (ニ) ” 旅客、貨物輸送需要に対する設備

3) 計画概要

現衡陽ターミナルは、上記のような問題をかかえており、特に将来の貨物輸送需要に対し、現ヤードは周辺が市街地で拡張が困難であるため衡陽・広州間複線化に合せ、衡陽駅北部の湘江と耒河に挟まれた低丘陵地で茶山坳駅付近(衡陽駅から北へ約10km)に基幹ヤードとして衡陽北ヤードを新設する。基幹ヤード移設後の現衡陽駅の下りヤード部分、地区貨物操配の地区ヤードに、現上りヤード部分は旅客輸送需要に対応し旅客ホームを増設し、客車の仕業検査、清掃、仕立を行なう客車整備所等の増強改良を行なう。(図5-2-7 参照)

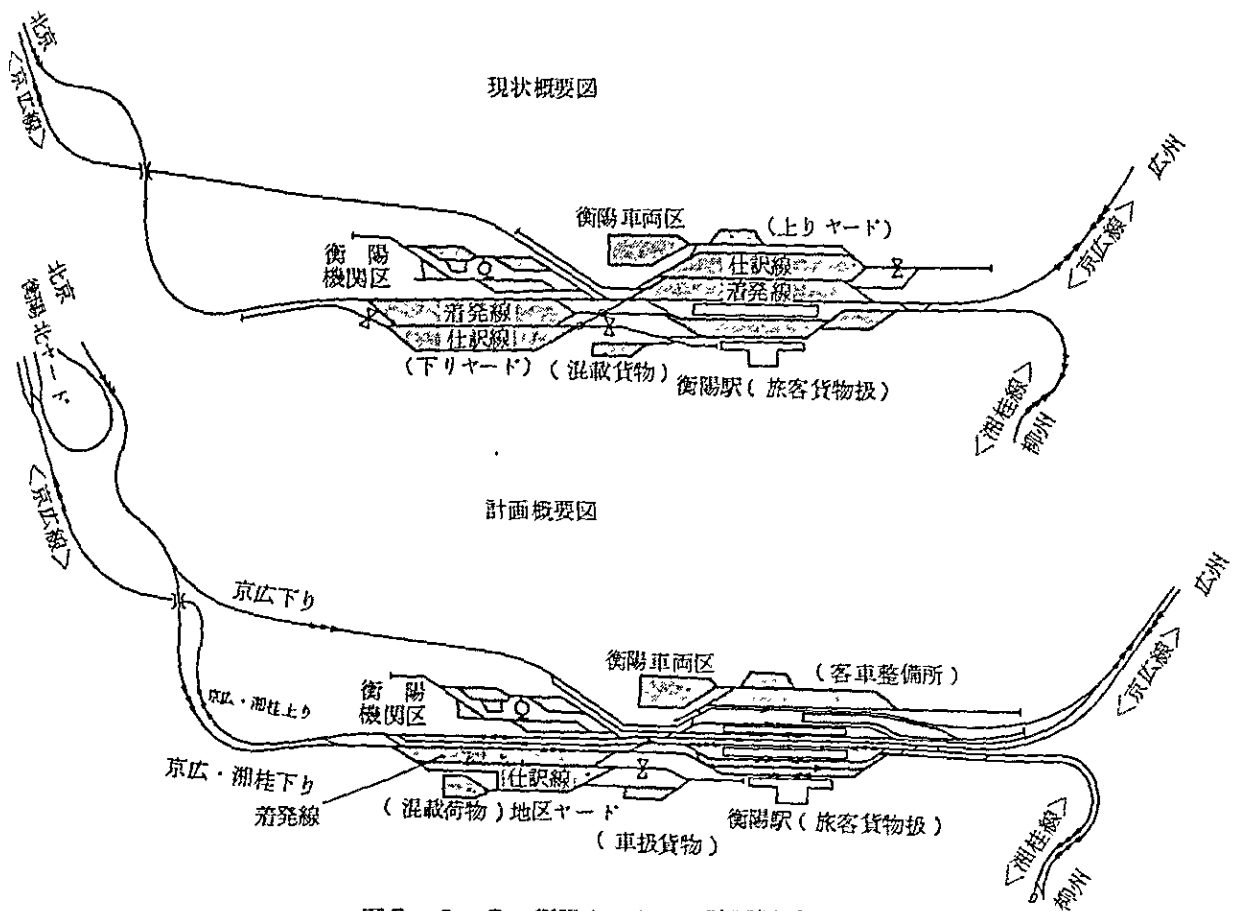


図5-2-7 衡陽ターミナル計画概要

その計画の概要は、次の通りである。

<衡陽駅>

衡陽北ヤード新設後は地区ヤードとして残し、旅客ホームを増設する。

着発線；8線（内、旅客着発線；5線、湘桂線を含む。）

仕訳線；7線

取扱能力；約450両/日

客車、貨車整備線の改良

<衡陽北ヤード>

現在衡陽駅のヤード取扱量は2,850両/日（1982年）で、1990年には衡陽北ヤード約3,000両/日、衡陽駅地区ヤード約450両/日の取扱量になると予測される。この取扱量が操車可能なヤードの配線は、図5-2-8に示す本線抱込式上下2ハンブヤードとなる。

衡陽北ヤードは地山切取量の削減、現湘江橋りょうの利用の理由から下り到着、出発がループする線形となる。

貨物ヤードの設備の概要を表5-2-3に示す。

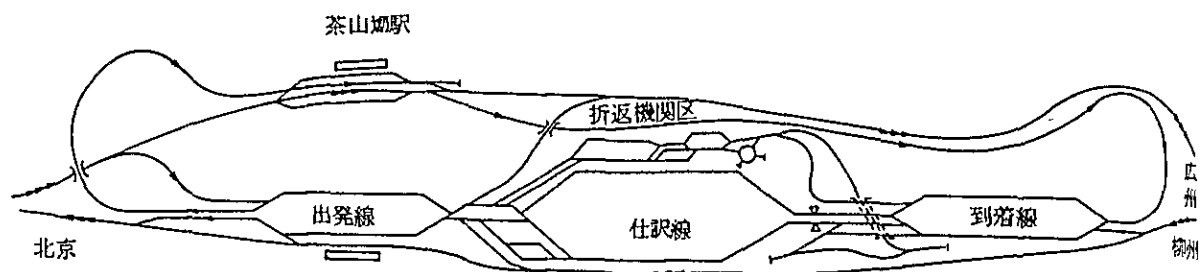


図5-2-8 衡陽北ヤード計画略図

表5-2-3 衡陽北ヤード設備の概要

構内軌道延長		7.28 Km
線数	到着線	9線, 有効長(850~930m)
	出発線	12線, # (850~970m)
	仕訳線	24線, # (780~1050m)
ハンプ		機械式上下並列2ハンプ
構内用地面積		118万 m^2
土工量		土工 605万 m^3 , 石工 250万 m^3
分岐器組数		18, 12番・14組, 9番・98組 6番・41組, SC等・28組
取扱量	分解能力	3500両
	組成能力	3100両
旅客駅		茶山坳駅
貨物駅		-
機関区		折返機関区
車両区		貨車駅修所
ヤードの使命		京広線の株州以北・郴州以南の着発貨車と湘桂線着発貨車の相互間の操配を行う。地区内の貨車は現衡陽駅で取扱う。

② 広州ターミナル

1) ターミナルの位置及び地形

広州ターミナルは、珠江の三角洲の沖積平野にあり、標高5m程度のなだらかな地形である。広州駅は、京広線の最南端駅で広東省の中心駅として深圳、九龍への広九線及び広三線の始発駅となっている。このため、香港方面からの旅客流動、黄埔港、新黄埔港等の海外貿易港からの貨物流動が多い。

広州ターミナルは広州の北方京広線の郭塘駅付近から広州の南側（北京起点2,275km00～2,298km085）L=23.1kmの区間である。この中には広州駅、郭塘駅、江村駅、大朗駅、小坪駅、広州北ヤード、広州機関区などが含まれる。

ターミナルの概要を、図5-2-9に示す。

2) ターミナルの現状及び問題点

a) ターミナルの現状

〈広州駅〉 旅客乗降人口；約50,000人/日

ホーム数 ； 6面9線（相対3面、島式3面 広九線、広三線を含む）

〈広州北ヤード〉 ヤード取扱量；1,500両/日

着発線；7線

下り出発仕訳線；9線

上り仕訳線；7線

〈主な周辺貨物駅〉 広州南駅 貨物積卸線；25線 400万ト/年

黄埔港 貨物積卸線；6線 270万ト/年

新黄埔港 貨物積卸線；5線 80万ト/年

その他専用線 10線

〈広州機関区〉 DL；客貨列車用

〈広州車両区〉 PC；検修（広州西駅）、整備（広州東駅）

FC；検修（広州西駅）

b) ターミナルの現状の問題点

(イ) 広州北ヤードの着発線容量

(ロ) 〃〃組成能力

(ハ) 周辺貨物駅の取扱能力

(ニ) 車両区の整備

(ホ) 旅客貨物輸送需要に対する整備

3) 計画概要

上記の問題点に対し、衡陽～広州間複線化に合わせ次の計画を考える。

将来の貨物輸送需要に対し広州北ヤードは周辺が市街地で拡張が困難である上、広州市周辺では用地確保が不可能なため、郭塘～江村間に江村ヤード（広州駅から北へ約20km）を広州地区の貨物駅の基幹ヤードとして新設する。江村ヤード新設により現広州北ヤードは地区内操配ヤード

ドに改良する。併せて広州東駅で行っている客車整備所（広州駅から通路線が市街地を横断しており、広州市から移転の要望もある。）を広州駅に近接した現広州機関区付近に併設し車両運用の効率化をはかる。

九龍方面への直通貨物線を線形改良し、広州駅への旅客列車ルートの新設により、棠溪・広州間の複線化をはかる。

広州周辺の貨物駅は分散しており、水運や道路との接続が難しく需要に対応できないため、大朗駅に貨物駅を新設する。（図5-2-9参照）

その計画概要は、次の通りである。

<江村ヤード>

現在広州北ヤードのヤード取扱量は1,500両/日（1982年）で、1990年には江村ヤード約2,900両/日、棠溪駅地区ヤード（旧広州北ヤード）約450両/日の取扱量になると予測される。江村ヤードの配線略図を図5-2-10に示す。

本線抱込式上下分離ヤード方式で、下りヤードは取扱い両数も多く到着、仕訳、出発が直列する配線とする。上りヤードは、着発線と組成線が並列する配線とする。

貨物ヤードの設備の概要を表5-2-4に示す。

<大朗貨物駅> 着発線；5線 積卸線；7線 留置線；2線 取扱能力 130万ト/年
（図5-2-4 参照）

<広州北ヤード> 地区ヤード 着発線；6線 仕訳線；6線 取扱能力 450両/日
客車整備所（広州駅着発客車の仕業検査、清掃、仕立を行う）の移設

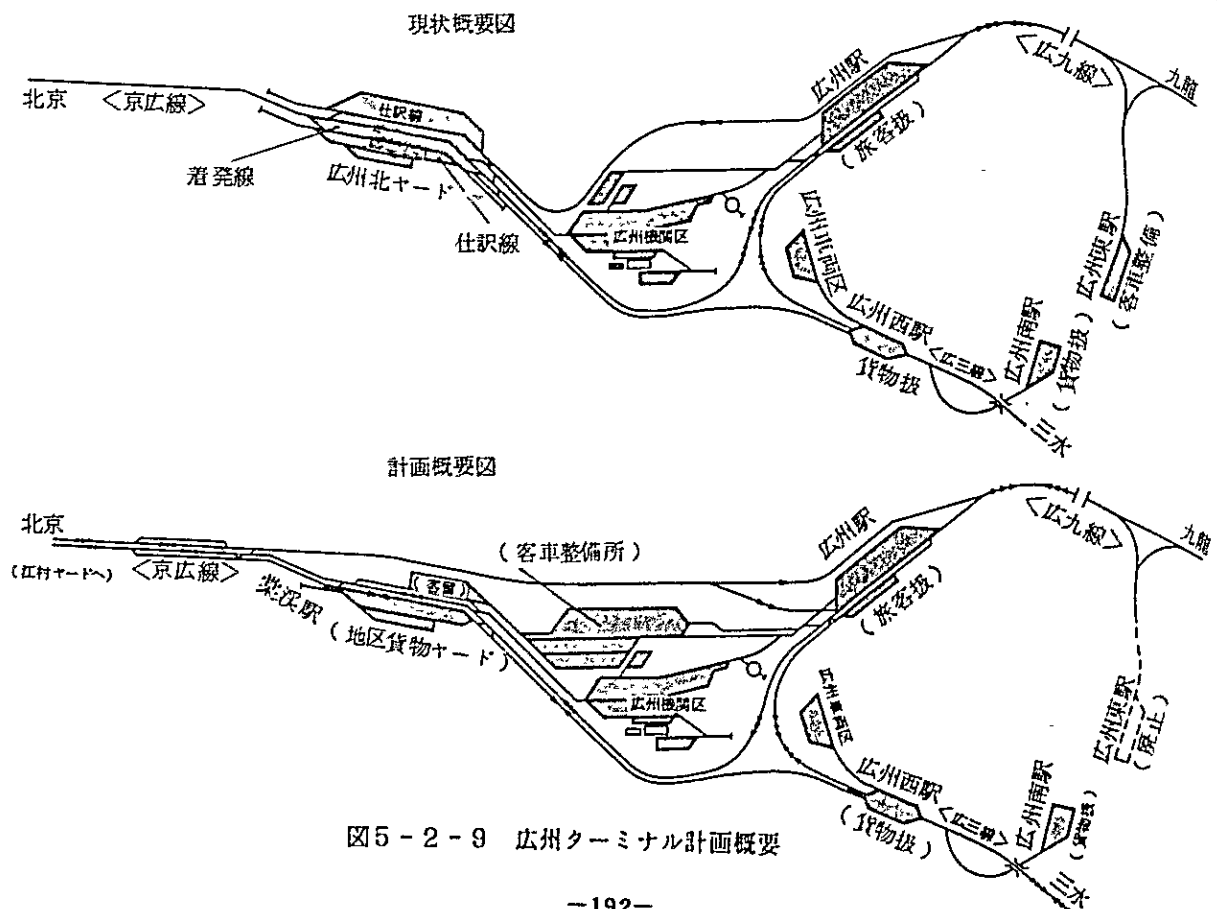


図5-2-9 広州ターミナル計画概要

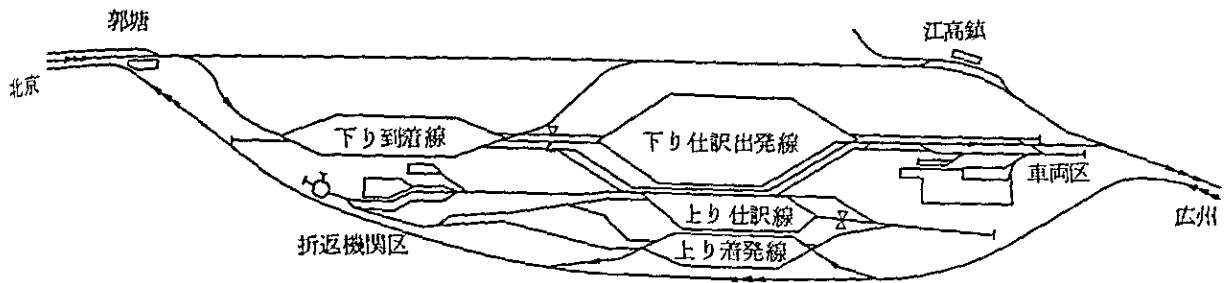


図5-2-10 江村ヤード計画略図

表5-2-4 江村ヤード設備の概要

構内軌道延長		64.4 Km	
線数	到着線	下りヤード 6線 (850~930m)	上りヤード 8線 (850~940m)
	出発線		
	仕訳線		
ハンプ		下り 機械式並列2ハンプ 上り 簡易式1ハンプ	
構内用地面積		161万㎡	
土工量		土工 70万㎡, 石工 260万㎡	
分岐器組数		12番・2組, 9番・109組 6番・26組, SC等・13組	
取扱量	分解能力	3550両	
	組成能力	2900両	
旅客駅		郭塘, 江高鎮駅	
貨物駅		-	
機関区		折返機関区	
車両区		貨車車両区	
ヤードの使命		広州地区の貨物駅の基幹操車場で、京広線の着発貨車と広九線の着発貨車の相互間の操配を行う。	

5-2-5 機関区、車両区

衡陽・広州間複線化及び郴州・韶関間電化に伴い機関区及び車両区を新設・改良する。

(1) 機関区

- 1) EL機関区 韶関機関区 新設
郴州折返機関区 新設
- 2) DL機関区 江村折返機関区 新設
江村ヤード内に計画
広州機関区 検修庫増設
- 3) SL機関区 衡陽北折返機関区 新設

図5-2-11に、韶関機関区の配線略図を示す。

(2) 車両区

- 1) 衡陽客車、貨車整備線の改良
- 2) 江村貨車区 新設
- 3) 広州客車整備所 移設

現広州東駅の客車整備所を現広州北ヤード内に移設する。

図5-2-12に広州客車整備所の配線略図を示す。

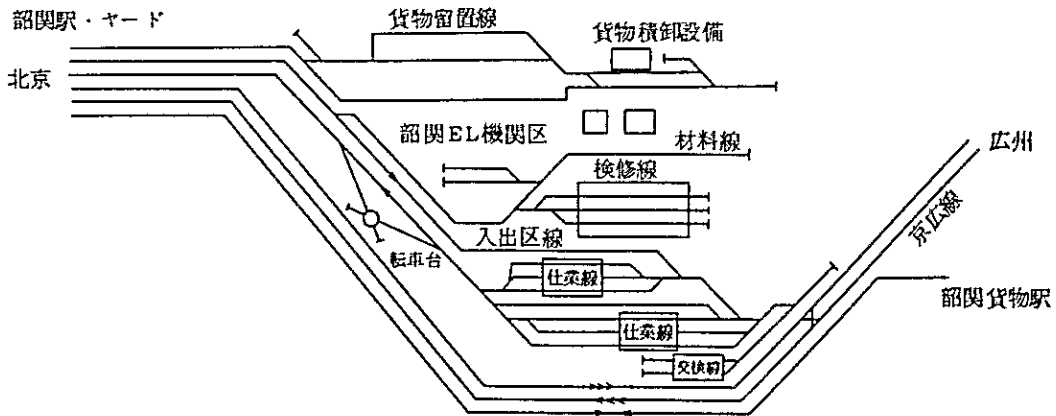


図5-2-11 韶関EL機関区配線略図

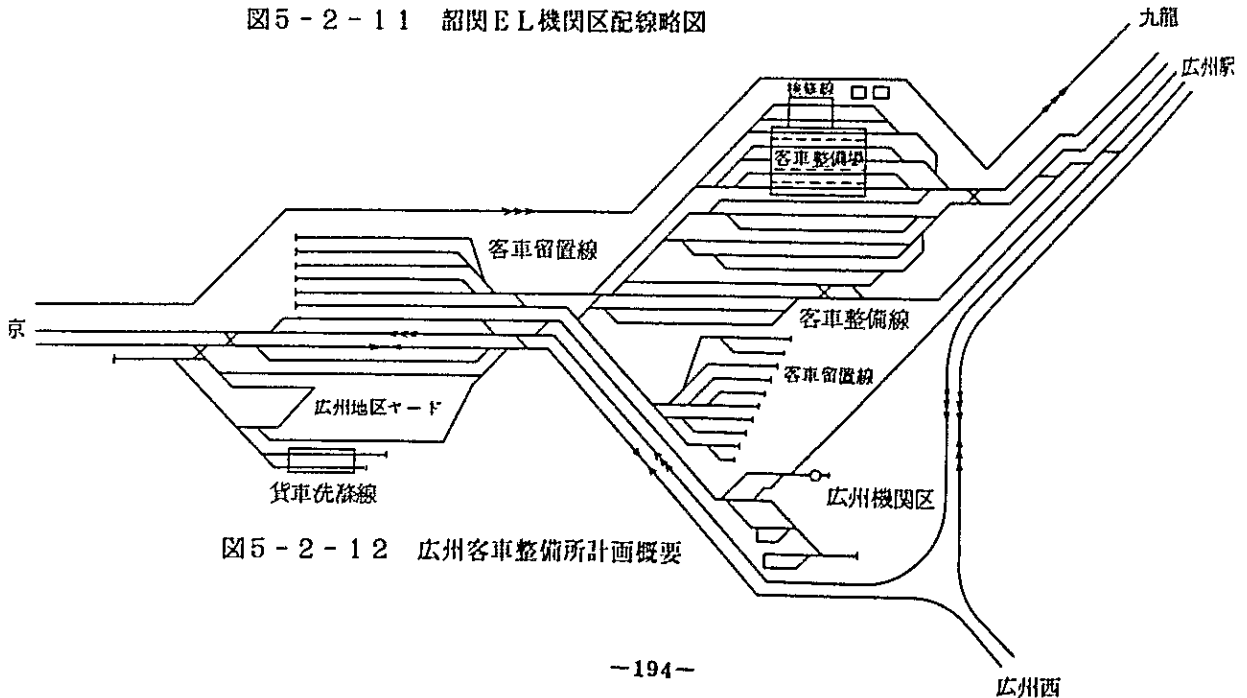


図5-2-12 広州客車整備所計画概要

5-3 電化設備計画

5-3-1 電化工事の範囲

衡陽・広州間541kmのうち南嶺山脈を横断する南嶺・大瑶山トンネル等長大トンネル区間の多い郴州・韶関間の155kmを鉄道複線電化を施行するものである。

5-3-2 電化方式

トンネル区間には回路構造が簡易で経済的な交流直接き電方式单相50Hz25KVを採用し、他の区間はBTき電方式单相50Hz25KVを採用する。

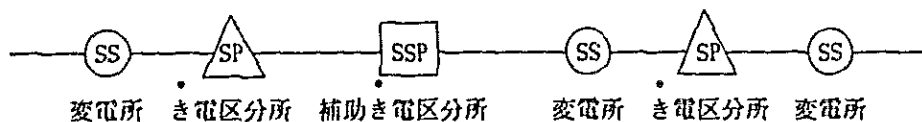
5-3-3 変電所等

(1) 計画

- 1) 輸送計画による最小運転時隔8分の列車運転の列車負荷、及び電源の短絡容量を考慮し、電気運転に支障ないき電電圧(20KV)を確保するには、牽引変電所は4箇所必要となり、その変電所間隔は約40kmとなる。

なお、中国電力部によると電源の短絡容量は約500MVA以上である。

- 2) 牽引変電所(き電用変電所)の電源は湖南省、広東省担当の電力部送電線(110KV2回線)より受電する。
- 3) 基本のき電構成は次の図に示す。



電源系統及びき電系統略図を図5-3-1に示す。

- 4) 変電所等の設置数は、次に示す。

種 別	箇 所
牽 引 変 電 所 (SS)	4
き 電 区 分 所 (SP)	3
補 助 き 電 区 分 所 (SSP)	1

(2) 変電所設備

- 1) き電用変圧器 25MVA~30MVA 3相Y/Δ 110KV/27.5KV
変電所各2台で完全予備方式とする。
- 2) き電用遮断器 き電回線は方面別、上下線別とし予備遮断器を設ける。

- 3) 配電用変圧器 2変電所（槐樹下、楽昌）のき電母線に27.5KV/10KV 3相変圧器を設備し信号及び電灯電力電源とする。
- (3) き電区分所設備
上下線を常時閉路する方式で方面別にそれぞれ対応の遮断器1台ずつと共通予備1台を設備する。
- (4) 以上の代表する牽引変電所、き電区分所の結線図は第2部図5-1-3に示す。
- (5) 遠制設備
1) 遠方監視制御装置の方式は「鉄研新W形」（東北・上越新幹線のW形を基本として簡易化したもの）で計画する。
2) 変電所等は衡陽、広州の各鐵路分局電力制御所より制御する。

5-3-4 電車線路

(1) 電車線

- 1) 方式 本線は変形Y型カテナリ又はシンプルカテナリで、側線についてはシンプルカテナリとする。吊架線、トロリ線別に滑車式バランスーを使用する。
- 2) 線種 吊架線には亜鉛メッキ鋼より線（ $sl-70\text{mm}^2$ ）を、トロリ線は、本線にはGLCA100/215同等以上のものを側線にはGLCB80/173同等以上のものを使用する。
- 3) 架高 支持点における吊架線とトロリ線との間隔高さは、変形Y型カテナリは明り区間1,500mm、トンネル区間850mmで、シンプルカテナリは1,100mmを標準とする。
- 4) トロリ線高さ レールレベルよりのトロリ線高さは次の通りである。

条 件		高さmm
標準	一 般	6,000
	複 線 式 ト ン ネ ル	5,750
	駅 構 内 荷 扱 す る 線	6,200
最 低		5,700
最 高		6,450

(2) 支持物

- 1) 電柱建植径間 直線区間では65mとし、最小曲線区間（ $R=400\text{m}$ ）では40mを標準とする。
- 2) 電柱 電車線路用コンクリート柱を標準とするが、特殊箇所及び設備上荷重が大となる箇所は鉄柱を使用する。
- 3) ビーム 駅中間では可動ブラケットを、駅構内ではスパン線ビームを使用することを標準とする。
- (3) 保護方式 負き電線架設区間は地絡導線を、他の区間は接地方式とする。
- (4) 工事の施工方法 機械力施行を考慮する。

電車線路の一部標準構造図は第2部図5-1-4に示す。

5-4 電力設備計画

5-4-1 配電所

衡陽・広州間に11箇所の配電所を新增設する。このうち衡陽及び江村配電所は35KV2回線、他は10KV2回線または1回線の受電(一部6KV)をして電力の供給をする。

以上の配電所位置等は図5-4-1に示す。

5-4-2 配電線路

(1) 配電線路はトンネル内を除き原則として架空線で専用支持物(主にコンクリート柱)に添架し配電する。

(2) トンネル内は、別途工事で設備されたダクトに高圧用ケーブル(3心)を布設する。

(3) 架空配電線には鋼心アルミより線(35mm²)を使用する。

電力設備計画概要は図5-4-1に示す。

5-4-3 照明動力設備

(1) 駅構内及びホーム上の屋外照明設備及び給水等の機械用動力設備の新設を行う。

(2) 衡陽地区ターミナル、江村操車場等の大駅構内の屋外照明には铁塔、門型ビーム投光式の灯具集中方式とし、他の駅は一般に灯柱方式の設備とする。

(3) 大瑤山トンネル等長大トンネルの照明設備を施工する。

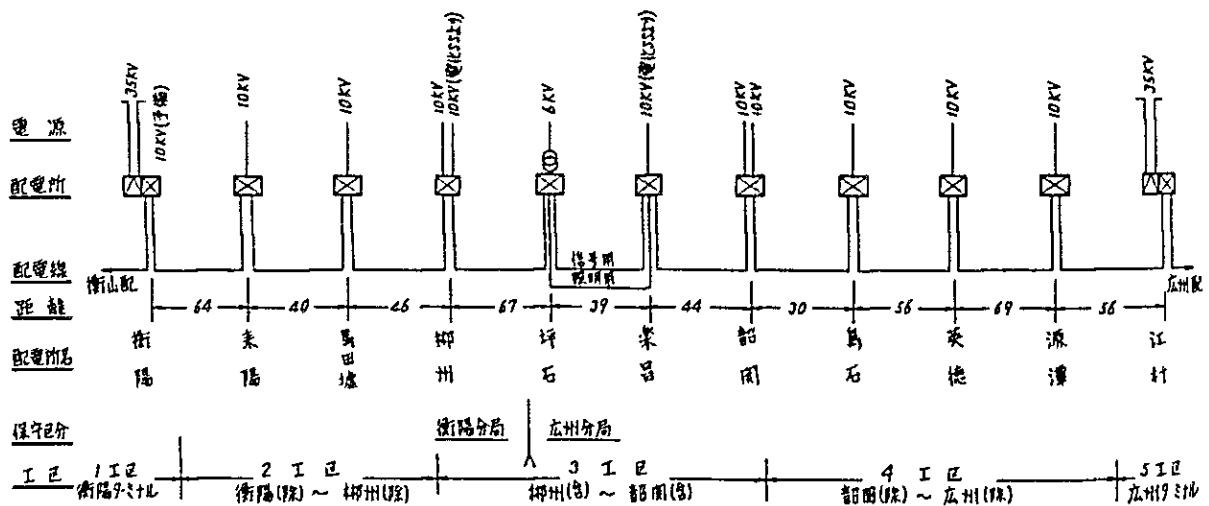


図5-4-1 衡陽・広州間10KV配電所及び配電系統略図

5-5 信号・通信設備計画

5-5-1 連動装置

連動装置は第1種継電連動装置とする。既に第1種継電連動化されている駅についても、複線化による線路配線の変更・線路有効長の延伸が行われ、既存設備の利用が困難なため設備取替を行う。

連動装置の設置駅計画を図5-5-1に示す。

5-5-2 閉塞装置

(1) 閉塞方式は自動閉塞方式とする。「中国鉄道技術管理規程」等により自動閉塞区間では地上信号機、車内信号機の併設が義務付けられているので、閉塞区間の境界に閉塞信号機（多燈式色燈式信号機）を、機関車には車内信号機（ATS付）を設備する。

(2) 軌道回路は関連線区との方式統一のため周波数偏移方式とし、標準閉塞長を1.8kmとする。

5-5-3 踏切保安装置

通行量の多い踏切には、複線化・自動閉塞化による列車本数の増加、電化による列車速度の向上に対応するため、列車接近自動通知装置、踏切警報機、踏切しゃ断機等を設置する。

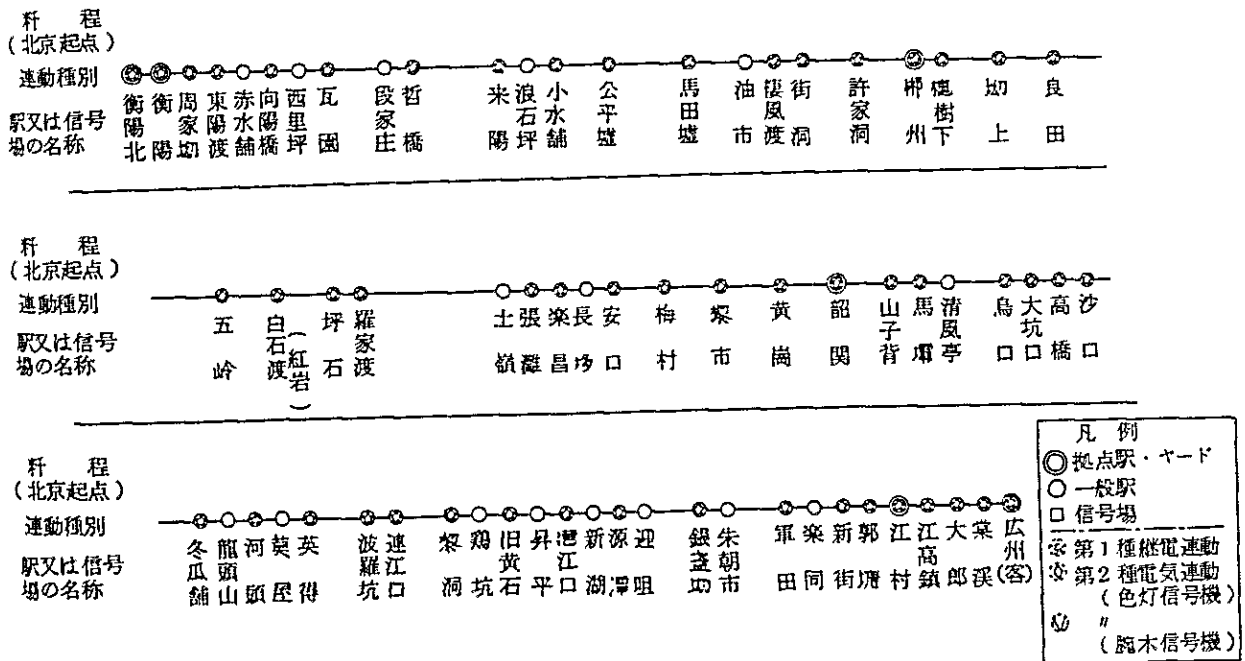


図5-5-1 衡陽・廣州間連動装置設置計画

5-5-4 通信伝送路

基幹伝送路の整備と交流電化対応のため、複合細芯同軸ケーブルを全区間にわたり布設する。
搬送装置の使用区分、設置数量を表5-5-1に示す。

表5-5-1 搬送装置の使用区分・設置数量

使用区分	搬送装置の種類		端局設置数量
拠点間	同軸搬送装置	300CH	2
		60CH	12
地区間	ケーブル搬送装置 (周波数多重式)	12CH	18
		3CH	6
ターミナル地区内	ケーブル搬送装置 (PCM式)	30CH	8

5-5-5 交換設備

複線化、電化に伴う通信網の整備・増強の一環として、表5-5-2のとおり交換機を増設する。

表5-5-2 自動交換設備の増強箇所

設置箇所	方式・容量	設置箇所	方式・容量
衡陽北	XB 400 回線	韶関	XB 500 回線
衡陽	" 2,000 "	英徳	" 100 "
米陽	" 200 "	源潭	" 100 "
郴州	" 500 "	江村	" 500 "
楽昌	" 100 "	広州(東山)	" 3,000 "

5-5-6 列車無線設備

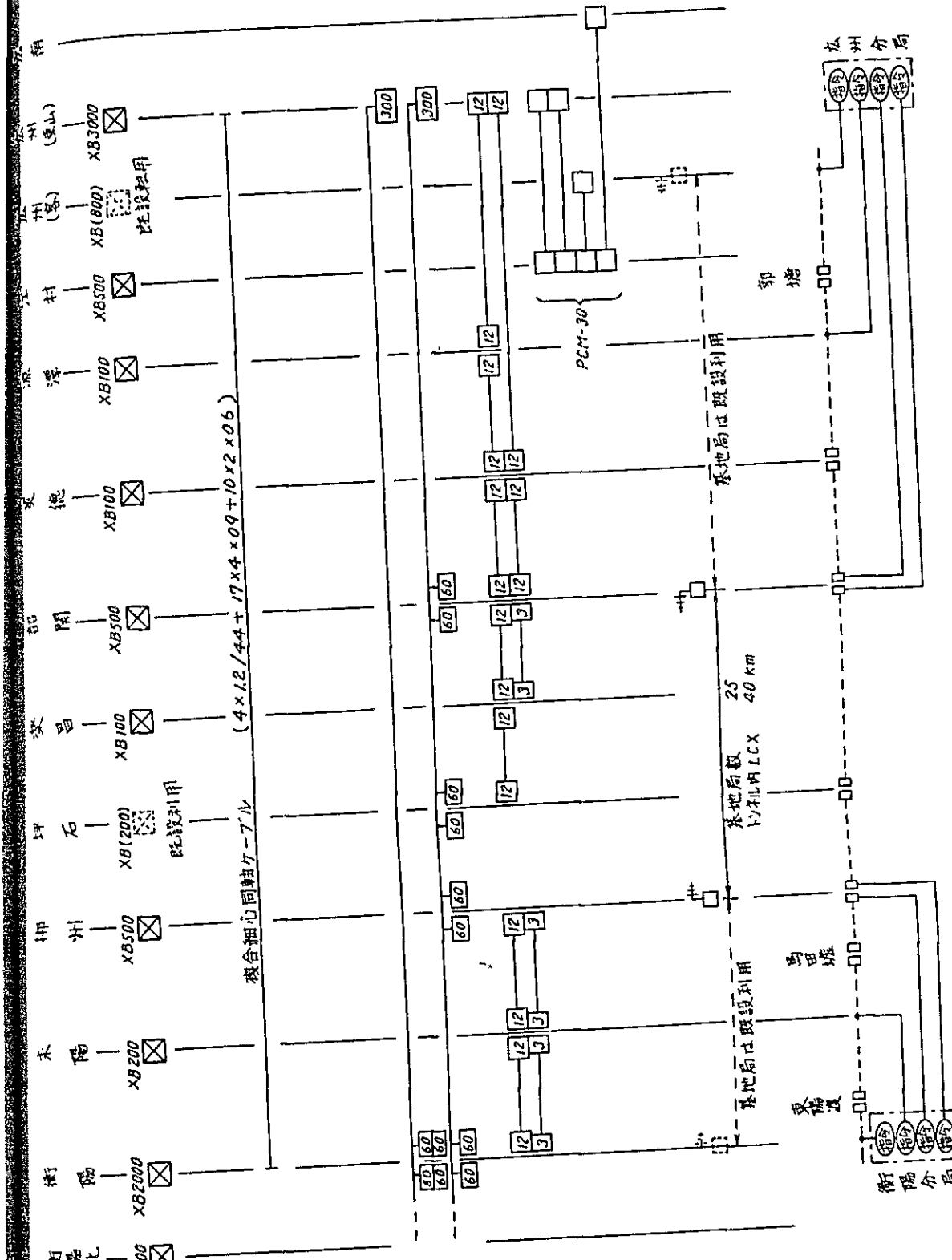
柳州・韶関間の電化区間においては列車無線システムの取替を行う。通話方式は半複信方式とする。
また、大瑶山及び南嶺トンネルの長大トンネルを含めたトンネル区間に対しては漏洩同軸ケーブル(LCX)を架設し、トンネル内での通話が可能な設備とする。

図5-5-2に通信設備計画の概要を示す。

5-5-7 その他

信号・通信設備には交流電化による静電誘導及び電磁誘導対策を行い、人体防護と機器の誤動作等の防止をはかる。

また、列車指令の管理範囲の変更、電力指令・電力区の新設などに伴う指令電話機、交換電話機の増設、第1種電連動化に伴う連絡通信設備の取替、ケーブル化による沿線電話設備の取替、その他を行う。



自動電話交換機
數字は交換機容量を示す。

主通信線路

搬送端局設備

同軸搬送
(數字はCH数を示す)

7-7-7搬送
(數字はCH数を示す)

列車無線 (地上局)

列車指令区分

図5-5-2 衡陽・廣州間主要通信設備計画

5-6 建物計画

衡陽・広州の複線化及び一部電化により駅の新設改良、操車場、機関区の新設改良を行う。これに伴い業務用建物の新增築を計画する。中間駅の建物配置図の例を図5-6-1に示す。

(1) 衡陽地区 ————— 4.8万㎡

衡陽駅の新築、衡陽北ヤードの新設等。

(2) 衡陽・広州間 ————— 19.4万㎡

中間駅改築 46駅

機関区新設 2箇所

その他車両検査所、信号所 一式

(3) 広州地区 ————— 9.5万㎡

江村ヤード、広州北駅の新設、改良等。

(4) 電化関連 ————— 1.1万㎡

変電、配電、電車線等。

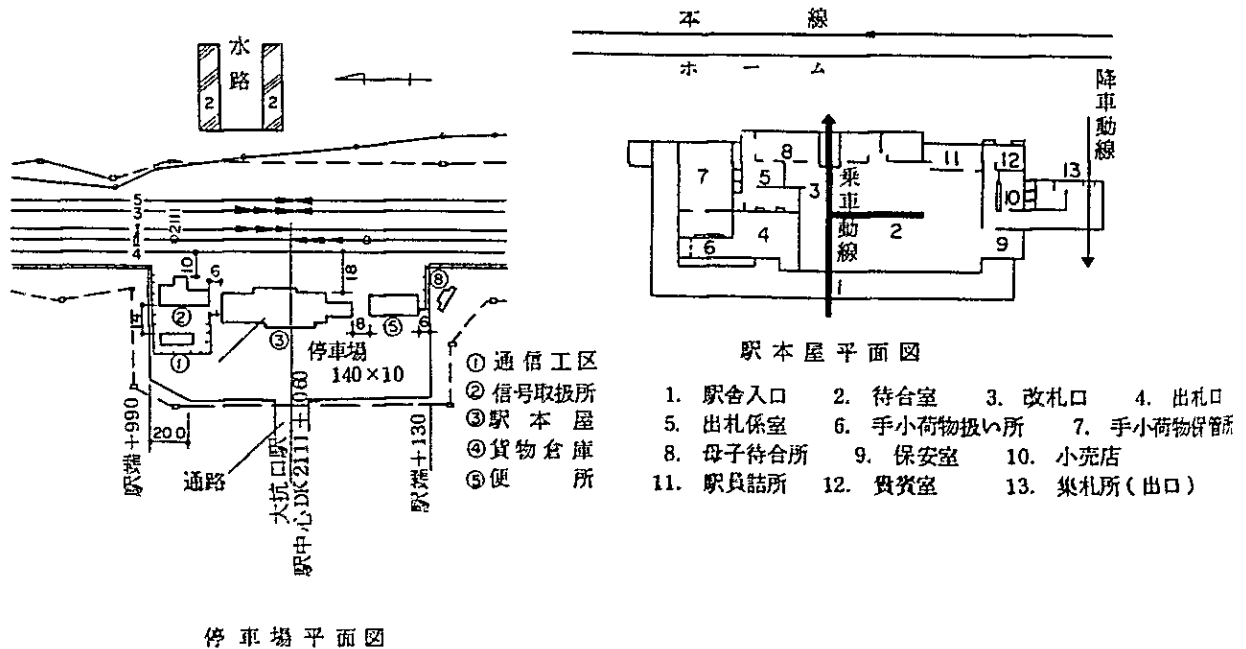


図5-6-1 中間駅の建物配置図

5-7 機関区、車両区計画

5-7-1 検修種別と周期

柳州・韶関間に投入されるE Lの検修の種別、内容、検修周期、作業日数については、表5-7-1のように計画する。検修周期はE Lの走行距離を標準とする。

表5-7-1 検修計画

種別	内容	検修周期	作業日数	施行箇所
大修	車両全般にわたる精密検修	120~140万km	20日	工場
架修	車体と台車を分離し、台車、主電動機、ブレーキ弁類等を取外し検修	30~35万km	7日	機関区
定修	蓄電池、主断路器、空気圧縮機の取外し検修 高圧機器、主電動機等の在姿検修	2.5~3.5万km	1.5日	〃
中検	主電動機、台車、軸受、制輪子等の在姿検修	1.25~1.75万km	4時間	〃

5-7-2 検修両数

柳州・韶関間に投入されるE Lの検修は韶関機関区において主として行う。検修周期、運用両数等から韶関機関区の年間検修計画を表5-7-2に示す。

表5-7-2 韶関機関区の検修両数

年 間 検 修 両 数	大 修	6
	架 修	17
	定 修	206
	中 検	228
運 用 両 数		28
配 置 両 数		34

注) 大修は株州工場で行う。

5-7-3 検修設備

韶関機関区に車体上下設備(天井クレーン、リフティングジャッキ)、電気機器検修設備、工作機械、その他の検修設備を新設する。あわせて衡陽・郴州・江村、広州の検修設備を増強する。

(表5-7-3参照)

表5-7-3 衡陽・広州間各機関区の検修設備

機関区 機械名	衡陽 (SL)	郴州 (EL)	韶関 (EL)	江村 (DL)	広州 (DL)
天井クレーン		2	8	1	1
リフティングジャッキ			8		
整流設備			2		
充電設備			3	2	
試験機器			7		
工作機械	3		12	2	
洗浄機器			3	3	3
作業用車	3	2			
その他機械設備	22	6	24	27	(庫内設備)

江村、衡陽、広州の各車両区の検修設備を増強する。(表5-7-4 参照)

表5-7-4 衡陽・広州間各車両区の検修設備

車両区 機械名	江村	衡陽	広州
天井クレーン	6	1	1
車体昇降装置	24	2	2
整流設備		1	2
充電設備	1	2	4
試験機器	8	10	14
工作機械	22	14	14
洗浄機器	7	3	4
作業用車	21	11	8
その他機械設備	約300台 (備品を含)	約30台	約60台

第6章 工事実施工程及び工事費

6-1 工事実施工程

工事実施工程は、次のとおりとする。

- (1) 工事開始 1984年
- (2) 工事完成
 - 1) 複線化部分完成 1986年(約150km)
 - 2) 全線完成 1988年

工事の実施工程を表6-1-1に示す。複線化部分完成の駅間を付表3-2-1に示す。

表6-1-1 衡陽・広州間工事実施工程表

工 事 項 目	1984年	1985年	1986年	1987年	1988年
用地補償等					
路 盤					
橋梁・カバト					
トンネル(除大瑤山)					
軌 道					
通 信					
信 号					
電 化					
電 力					
機関区・車両区					
駅 設 備					
建物・給排水					
設 計 調 査					
大瑤山トンネル					
技 術 合 作					

6-2 工事費

衡陽・広州間541kmの複線化計画柳州・韶関間155kmの電化計画・施設増強計画、車両増備計画等を実施するに必要な工事費を算定する。

6-2-1 工事費算定の前提条件

- (1) 工事費は工事項目毎に、労務費、材料費（機械費を含む）、その他経費を考慮して算出した。
- (2) 工事費は1983年7月現在とし、エスカレーションの要素は考慮しない。
- (3) 工事費は外貨、内貨に分けて算出した。外貨は、国際入札を前提として算出した。
- (4) 外貨対象とした輸入資機材についてはC.I.F価格とした。
- (5) 工事に伴う予見不可能性を考慮して工事費の10%を予備費とした。
- (6) 技術合作費は外貨としコンサルタントフィー及び研修費を計上する。
- (7) 外貨換算レートは、1元=125円とする。
- (8) 各工事項目とも労務費をすべて内貨とする。
- (9) 中国国内調達力等を調査し、レール、信号ケーブル、踏切設備、き電用変圧器、車両の一部については外貨とする。各工事項目毎の内貨・外貨の区分を表6-2-1に示す。

表6-2-1 衡陽・広州間工事項目別材料の内・外貨区分

工 事 項 目		外 貨	内 貨
1	用地補償その他	三材、施工機械	地方材料、郵電部補償
2	土工その他 (大瑤山トンネルを除く)	三材	地方材料
3	軌 道	三材、レール	地方材料
4	通 信	通信ケーブル、搬送端局、列車無線設備、交換機、電源	沿線電話機、加入者電話機、電線管、配線盤など
5	信 号	信号ケーブル、踏切設備	トラフ、軌道絶縁、軌道接続線、電気転てつ機、信号機 軌道回路
6	電 化	変電機器、遠制装置、トロリ線、その他電線類、三材	吸上変圧器、地方材料
7	電 力	変圧器を除く機器、電線類、照明器具、配線器具、三材	変圧器、地方材料
8	機関区・ 車両区設備	三材	地方材料、検修用機械設備
9	駅その他設備	三材	地方材料
10	建物・給排水	三材	地方材料
11	設計調査	小型コンピュータ、その他試験器	
12	大瑤山トンネル	三材	地方材料
13	車 両	1987年 部分複線開業時に必要となる F C 952両	全線複線開業及び電化開業時までに投入する E L 34両、 P C 121両、F C 275両

注) (1) 三材とは、鋼材、木材、セメントをいう。

(2) 地方材料とは、砂、砕石、レンガ等をいう。

(3) S L及びD Lについては鄭州・三門峡西間電化により不要となるS L及びD Lを転用するものとした。

6-2-2 工事費総額

工事費の総額及び工事項目の年度別工事費を表6-2-2に示す。

表6-2-2 衡陽・広州間工事費総額及び年度別工事費

単位 内貨：万円
外貨：百万円

工事項目	労務・材料別	総 額		1984年		1985年		1986年		1987年		1988年	
		内 貨	外 貨	内 貨	外 貨	内 貨	外 貨	内 貨	外 貨	内 貨	外 貨	内 貨	外 貨
用地補償 その他	労務費	4,421		4,421									
	材料費	29,372	14,552	17,916	8,039	2,469	3,795	2,469	2,718	3,259	-	3,259	-
路 盤	労務費	7,144		1,836		3,539		1,769		-		-	
	材料費	10,355	2,736	2,637	681	5,145	1,367	2,573	688	-	-	-	-
橋りょう カルバート	労務費	1,014		208		403		403		-		-	
	材料費	4,978	4,496	996	898	1,991	1,799	1,991	1,799	-	-	-	-
トンネル 除大塚山	労務費	2,139		713		713		713		-		-	
	材料費	5,286	4,417	1,762	1,472	1,762	1,472	1,762	1,473	-	-	-	-
軌 道	労務費	1,038		43		324		431		240		-	
	材料費	3,866	25,038	146	1,016	1,139	7,824	1,519	10,428	1,062	5,770	-	-
電 化	労務費	446		-		-		-		223		223	
	材料費	327	4,829	-	-	-	-	-	-	164	2,415	163	2,414
電 力	労務費	173		-		-		57		58		58	
	材料費	1,068	2,289	-	-	-	-	356	763	356	763	356	763
通 信	労務費	618		-		-		159		309		150	
	材料費	999	4,329	-	-	-	-	13	902	499	2,165	487	1,262
信 号	労務費	582		-		-		91		291		197	
	材料費	2,932	1,959	-	-	-	-	78	438	1,466	980	1,388	541
機関区 設 車両区 備	労務費	235		-		-		78		78		79	
	材料費	1,024	738	-	-	-	-	340	246	342	246	342	246
駅その他 設 備	労務費	813		-		-		281		281		281	
	材料費	1,262	3,906	-	-	-	-	420	1,302	421	1,302	421	1,302
建 物 給排水	労務費	714		-		-		238		238		238	
	材料費	2,724	3,165	-	-	-	-	908	1,055	908	1,055	908	1,055
設計調査	労務費	0		-		-		-		-		-	
	材料費	0	800	-	338	-	275	-	187	-	-	-	-
大塚山 トンネル	労務費	1,585		528		528		529		-		-	
	材料費	8,472	2,098	2,824	699	2,824	699	2,824	700	-	-	-	-
技術合作	労務費	0		-		-		-		-		-	
	材料費	0	2,236	-	559	-	559	-	559	-	559	-	-
小、中、大 予備費	労務費	20,952		7,749		5,507		4,752		1,718		1,226	
	材料費	72,665	77,588	26,281	13,702	15,330	17,790	15,253	23,258	8,477	15,255	7,324	7,589
予備費	労務費	2,095		775		551		475		172		122	
	材料費	7,267	7,759	2,628	1,370	1,533	1,779	1,525	2,326	648	1,526	733	758
車両費	労務費			-		-		-		-		-	
	材料費	6,628	9,520	-	-	-	-	-	9,520	-	-	6,628	-
合 計	労務費	23,047		8,524		6,058		5,227		1,890		1,348	
	材料費	86,560	94,867	28,909	15,072	16,863	19,569	16,778	35,104	9,325	16,781	14,685	8,311
	合 計	109,607	94,867	37,433	15,072	22,921	19,569	22,005	35,104	11,215	16,781	16,033	8,311
日本円換算(百万円)		231,876		61,863		48,220		62,610		30,800		28,383	

6-2-3 工事費内訳

表6-2-3 衡陽・広州間外貨主要材料

	単位	数量	単位(万円)	金額(百万円)
鋼材	トン	62709	100	6271
木材	m ³	266174	4.5	11978
セメント	トン	610337	1.5	9155
レール	トン	156360	130	20327
			小計	47731
貨車	両	952	1000	9520
			小計	9520
			合計	57251

表6-2-4 衡陽・広州間工事労務単価

(元/人・日)

地区 工事種別	広州管理局		隧道工事局
	湖南省	広東省	大瑶山隧道
切取、盛土	2.50	2.96	2.94
土留、石積み	2.75	3.21	3.19
橋りよう、軌道	2.92	3.41	3.39
通信、信号、電力、電化	3.09	3.62	3.60
トンネル一般	3.26	3.81	3.88
トンネル(運転手)	3.43	4.02	4.09

表6-2-5 衡陽・広州間工事主要材料単価

材料名	単位	単価
砂	元/m ³	5.8
砕石(φ20~30)	"	16.1~11.4
レンガ	元/千個	50

表6-2-6 衡陽・広州間用地購入単価

	単位	単価
総平均	元/m ²	9

表6-2-7 衡陽・広州間工事費内訳(1)

内貨 万円
外貨 百万円

工事項目	主要工事数量	費用別	内 貨	外 貨	主要外貨対象	
用地補償その他		労務費	4,421			
		材料費	29,372	14,552		
		計	33,793	14,552		
内 訳	用地補償	1,000万㎡	労務費	0		無
			材料費	9,072	0	
			計	9,072	0	
	道水路移設, その他	一式	労務費	345		鋼材, 木材, セメント
			材料費	1,697	732	
			計	2,042	732	
	工事用道路	220km	労務費	574		鋼材, 木材 セメント
			材料費	785	426	
			計	1,359	426	
	仮設建物等仮設工事	一式	労務費	3,502		鋼材, 木材 セメント
			材料費	4,782	2,231	
			計	8,284	2,231	
現場経費	一式	労務費	0		無	
		材料費	13,036	0		
		計	13,036	0		
土木施工, 建設機械 等	ダンプトラック他 22種の建設機械 地震計他6試験機	労務費	0		土木施工建設 機械	
		材料費	0	11,163		
		計	0	11,163		
路 盤	土工量 4,500万㎡	労務費	7,144		鋼材, 木材 セメント	
		材料費	10,355	2,736		
		計	17,499	2,736		
橋りょう カルバート		労務費	1,014		鋼材, 木材 セメント	
		材料費	4,978	4,496		
		計	5,992	4,496		
内 訳	橋りょう	174ヶ所 1.6km	労務費	669		鋼材, 木材 セメント
			材料費	3,285	2,967	
			計	3,954	2,967	
カルバート	1,395ヶ所 3.9km	労務費	345		鋼材, 木材 セメント	
		材料費	1,693	1,529		
		計	2,038	1,529		

表6-2-7 衡陽・広州間工事費内訳(2)

内貨 万円
外貨 百万円

工事項目		主要工事数量	費用別	内 貨	外 貨	主要外貨対象
トンネル (除く大瑤山)		48ヶ所 26.8km	労務費	2,139		鋼材, 木材 セメント
			材料費	5,286	4,417	
			計	7,425	4,417	
軌 道	大瑤山トンネル28.5 kmを含み, 敷設延 長900.5km	労務費	1,038		鋼材, レール, 木材, セメント	
		材料費	3,866	25,038		
		計	4,804	25,038		
電 化		労務費	446			
		材料費	327	4,829		
		計	773	4,829		
内 変電所等	SS 4箇所 SP 3 # SSP 1 #	労務費	21		機器一式 速制装置一式	
		材料費	100	2,533		
		計	121	2,533		
駅 電車線路	電車線延長 438km	労務費	422		トバリ線, 電線類 架線金具 三材	
		材料費	227	1,913		
		計	649	1,913		
電力区		労務費	3		電化建設機械 変電検測装置	
		材料費	0	383		
		計	3	383		
電力		労務費	173			
		材料費	1,068	2,289		
		計	1,241	2,289		
内 配電所	11箇所	労務費	28		機器一式 (変圧器を除く)	
		材料費	138	865		
		計	166	865		
配電線	高圧配電線路 541km	労務費	131		電線類, 架線金具 三材	
		材料費	644	993		
		計	775	993		
駅 照明動力	衡陽, 江村ヤード, 大瑤山トンネル電 力設備一式	労務費	14		電線類, 照明器具, 分電 盤その他器具 (変圧器を除く) 三材	
		材料費	286	431		
		計	300	431		
大瑤山トンネル内 照明再掲		労務費	(5)		電線類, 照明器具	
		材料費	(76)	(57)		
		計	(81)	(57)		

表6-2-7 衡陽・広州間工事費内訳(3)

内貨 万元
外貨 百万円

工事項目	主要工事数量	費用別	内貨	外貨	主要外貨対象	
信 号		労務費	582			
		材料費	2,932	1,959		
		計	3,514	1,959		
内 訳	信 号 設 備	継電連動機 53 駅	労務費	200		リターダ 測定器
		信号機(各種)1800基	材料費	1,534	704	
		電気伝つ機 1,600台 リターダ 20組	計	1,734	704	
	信 号 線 路	信号ケーブル(各種) 1,300km	労務費	188		信号ケーブル各種
			材料費	156	877	
			計	344	877	
	軌 道 回 路	軌道回路 2,500組	労務費	170		
			材料費	1,242	0	
			計	1,412	0	
	踏 切 設 備	踏切保安設備 (各種) 63箇所	労務費	24		踏切警報機・踏切シャ 断機等
			材料費	0	378	
			計	24	378	
通 信		労務費	618			
		材料費	999	4,329		
		計	1,617	4,329		
内 訳	通 信 線 路	複合細芯同軸ケーブ ル 514km	労務費	318		複合細芯同軸ケーブル 一般通信ケーブル
		一般通信ケーブル 450km	材料費	26	1,804	
			計	344	1,804	
	通 信 設 備	搬送端局装置(各種) 34組、交換機(各種) 10台、列車無線基 地局25箇所	労務費	300		搬送端局装置 交換機 列車無線装置
			材料費	973	2,525	
			計	1,273	2,525	
機 関 区 車 両 区	機関区 5ヶ所 車両区 3ヶ所	労務費	235		鋼材、木材 セメント	
		材料費	1,024	738		
		計	1,259	738		
駅その他 設 備	駅数67ヶ所	労務費	843		鋼材、木材 セメント	
		材料費	1,262	3,906		
		計	2,105	3,906		
建 物 給 排 水	建物34.8万㎡	労務費	714		鋼材、木材 セメント	
		材料費	2,724	3,165		
		計	3,438	3,165		

表6-2-7 衡陽・広州間工事費内訳(4)

内貨 万元
外貨 百万円

工事項目	主要工事数量	費用別	内 貨	外 貨	主要外貨対象	
設計・調査	小型コンピュータ 10台 光電測距機5台 他7種の調査機械	労務費	0		小型コンピュータ 光電測距機 土質試験機等	
		材料費	0	800		
		計	0	800		
大瑤山トンネル	トンネル14.3km の内10.74km	労務費	1,585		鋼材, 木材 セメント	
		材料費	8,472	2,098		
		計	10,057	2,098		
技術合作		労務費	0		上記項目工事費計の 1.2%を計上した	
		材料費	0	2,236		
		計	0	2,236		
予備費	上記項目工事費計 の10%を計上した	労務費	2,095			
		材料費	7,267	7,759		
		計	9,362	7,759		
車両費		労務費	0			
		材料費	6,628	9,520		
		計	6,628	9,520		
内 訳	電気機関車	EL 34両	労務費	0		
			材料費	4,250		0
			計	4,250		0
	客車	PC 121両	労務費	0		
			材料費	1,498		0
			計	1,498		0
貨車	FC 1227両	労務費	0	FC 952両		
		材料費	880		9,520	
		計	880		9,520	

第7章 経済分析

中国において目下進行中の第6次5ヶ年計画は、「調整、改革、整頓、向上」の大方針下に、来たる第7次5ヶ年計画に向けて力強い歩みを見せている。

中国はこれら国家経済計画遂行により、2000年には全ての工・農業生産額を1980年水準の4倍に引き上げるべく種々の経済建設を押し進めており、特に、エネルギー節約、増産、エネルギー・交通関連インフラストラクチャーの建設・整備は国家の重要課題となっている。

今回の経済分析の主要な目的は、「衡陽・広州間鉄道複線化及び電化計画」を国民経済的視点から分析し、中国国家経済の観点から同計画実施の妥当性を確認することにある。

7-1 経済分析の手法

7-1-1 with/without 分析

本分析は当該プロジェクトが実施された場合 with the project, と実施されなかった場合 without the project の比較分析である。

この概念を表わすと以下のとおりとなる。

• with the project

衡陽・広州間単線鉄道が複線・一部電化され、従来の鉄道交通に加えて、鉄道複線化・一部電化により道路交通の一部が転換した場合。

分析対象区間は下記のとおり。

- 衡陽・広州間複線電化鉄道
- 衡陽・広州間道路（現状）

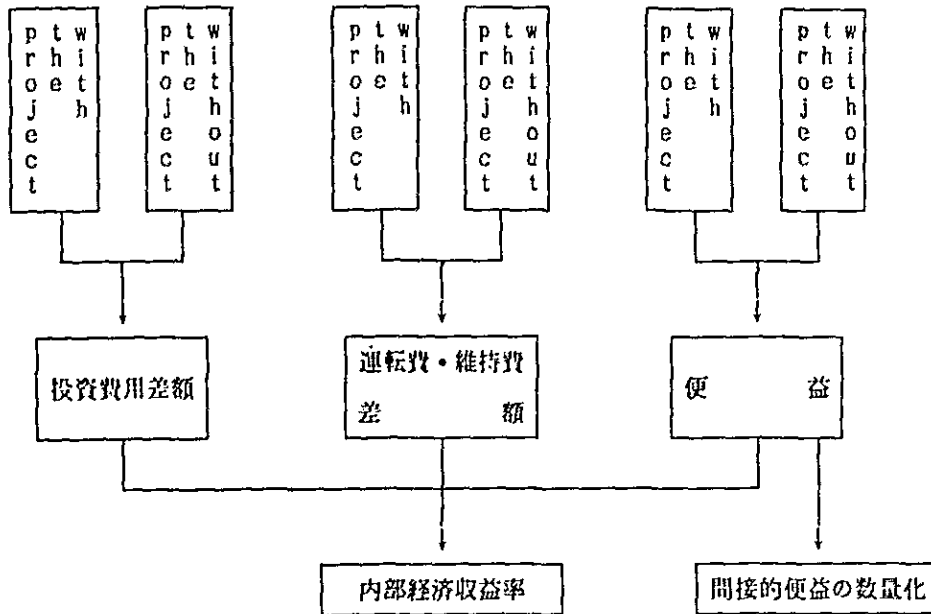
• without the project

当該計画が実施されずに、従来の鉄道交通は既存の単線鉄道が賄い、賄いきれぬ交通量を道路交通が担当した場合。

- 広州・衡陽間単線鉄道（現状）
- 広州・衡陽間道路（現状+増設）

今回の経済分析を with/without の比較によって行うことは先にも述べたが、手法を図示すると以下のとおりとなる。

表7-1-1 経済分析の流れ



7-1-2 分析項目

以下の通り with/without の投資，維持・運営費，便益の各項目について分析を行なう。

(1) 投資費用

with の際の鉄道地上設備（含土地収容）費および鉄道車両投資費用。

without の際の道路増設費およびバス，トラックの投資費用，ならびに鉄道関係投資費用。

(2) 維持・運営費

with の際の鉄道地上設備および鉄道車両運営・維持の為の人件費，維持費，動力費。

without の際の道路，バス・トラックおよび鉄道関係の人件費，維持費，動力費。

(3) 便益

プロジェクトが実施されたことによる鉄道旅客の便益（時間節約便益），鉄道貨物荷主の便益（貨物金融コストの節減）および，先に述べた維持運営費の差（with/without）を直接便益として捉える。

7-1-3 評価

(1) 内部経済収益率（Economic Internal Rate of Return: E.I.R.R）による評価

衡陽・広州間鉄道複線化および電化計画について with the project と without the project との差額としての投資費用差額，維持・操業費用差額，便益を年度ごとに算出し，これを net flow とする。

この net flow に基づいて内部経済収益率を算出し，これを評価の指標とする。

この指標は7-1-2で述べた各分析項目を経済価格を共通の尺度として統合化した総合指標である。なお、今回の経済分析においては、インフレーションを考慮せずにE.I.R.R.を算出する。E.I.R.R.の計算式は下記の通り。

$$0 = \sum_{i=1}^{30} \text{net flow}_i / (1 + \text{E.I.R.R.})^{i-1}$$

(2) その他副次的効果

E.I.R.R.による評価に加えて、以下の副次的効果を参考指標とする。

1) 雇用機会創出効果

プロジェクト評価の重要な間接指標として、プロジェクトが生み出す雇用機会を推定する。

2) エネルギー節減効果

従来のDL, SLによる鉄道輸送が一部ELに切り換わることで、また、道路交通の一部が鉄道へ転換することにより、燃料としての石油製品および石炭の節減がはかられる。中国におけるエネルギー節減は、当国の非常に重要な政策のひとつである。

国家経済委員会が1983年9月に発表したデータによれば、当国の工農業生産を2000年時点で1980年の4倍にするためには、4倍増計画に必要なエネルギーの半分はエネルギー節減によらねばならないとしている。

このように、エネルギー節減は中国の重要な国家目標であるため、本プロジェクト実施によるエネルギー節減効果を推定する。

3) 道路交通事故回避効果

E.I.R.R.計測には組み入れていないが、計画実施により道路から鉄道へ交通が転換するため、道路交通事故が減少する。この効果を推定する。

7-1-4 前提

(1) 為替レート

1人民元=125日本円

(2) 耐用年数と再投資

中国鉄道部より提供された耐用年数および日本国有鉄道の実績を参考にして決定した。耐用年数が経過した時点で、各資産の再投資を行うこととする。

(3) プロジェクト・ライフ

通常の鉄道プロジェクト評価で用いられる30年を使用する。

(4) インフレーション

下記の理由により分析から除外した。

1) 30年間の予測は種々の要素がからむため、単純に今後の予想インフレーションを基に予測した場合、大きな誤差の生ずる可能性があり、経済評価を著しく歪める可能性がある。

2) インフレーションは投資、費用、便益に相互に作用し合う。

(5) 鉄道が運ぶべき交通量

- 1) 通常交通量：with/without the project にかかわらず、将来自然に増加する鉄道交通量。
 (ただし、実際は without の鉄道輸送力限界によって押え込まれる。)
- 2) 転換交通量：with the project の場合、今まで鉄道で賄いきれずに道路に流れていた交通量の一部が鉄道に転換してくる。この交通量を転換交通量とする。
- すなわち、with the project の場合に鉄道が運ぶべき交通量は、通常交通量+転換交通量であるが、without the project の場合には、通常交通量は鉄道、転換交通量は道路が各々分担して運ぶこととなる。
- (6) 輸送需要の伸びは2000年以降については E.I.R.R 計測を安全サイドに行なうために伸びはないと仮定した。

7-2 経済コスト

7-2-1 資金コスト

積算された工事費 (financial cost) に以下の調整を加え、経済コストを推計した。

(1) 税金、補助金調整

1) 外貨部分 (材料費)

工事費積算時、輸入関税ならびに販売税を除外してあるので調整は不要である。(鉄道部説明によれば、輸入資機材については関税免税措置を申請予定)

2) 内貨部分 (材料費)

鉄道部工業総局の管轄下の工場から資機材を購入する場合、生産工場は15%の工商統一税を支払っている。

税金調整のために15%の工商統一税を内貨部分から控除した。

3) 内貨部分 (労務費)

以下の表においても明らかなように、建設工事労働者の賃金は、所得税控除適用金額内に収まると考えられるので税金調整は不要である。

表7-2-1 個人所得税税率表 (賃金・俸給所得に適用)

等級	所得割	税率%
1	月収800元以下	免税
2	月収801元から1,500元まで	5
3	月収1,501元から3,000元まで	10
4	月収3,001元から6,000元まで	20
5	月収6,001元から9,000元まで	30
6	月収9,001元から12,000元まで	40
7	月収12,001元以上	45

(「中国通信」1980年9月18日)

(2) 再投資

with/without の投資額算定のベースを合わせるために投資された全ての資産は、表7-2-4の耐用年数が経過した翌年に同額の再投資をする前提とした。

(3) 残存価格

設定された30年のプロジェクトライフは分析上の期間であって、鉄道施設はそれ以降も運営され続けるので、プロジェクト最終年に投下資本の未償却高を残存価値として全額計上する。

(4) 資本コストの明細

with the project の資本コストは表7-2-2のとおりである。

表7-2-2 with the project の資本コスト (経済価格)

(単位：百万元)

	1984~88	1989~2000	2001~2013	合計
電 化	74.992	0	21.324	96.316
信 通	95.716	0	55.406	151.122
土 木	1,165.208	0	0	1,165.208
車 両	149.006	151.461	305.289	605.756
機 関 区	16.948	0	16.958	33.906
土地収容	77.112	0	0	77.112
技 術 費	17.888	0	0	17.888
そ の 他	144.786	0	9.368	154.154
車両転用 (他線区への)	0	△ 31.005	0	△ 31.005
合 計	1,741.656	120.456	408.345	2,270.457

注) 残存価値は本表の表示から除く。内貨・外貨の区分けは財務分析を参照のこと。

without the project の資本コスト (経済価格) については、本計画が実施されない場合、転換交通を賄う為の道路関係投資 (道路の増設、バスおよびトラックの購入) ならびに鉄道の通常交通量を現状通り賄う為の鉄道関係投資 (with で置きかわるもののうち、取替が必要なものを対象) を、以下のように計上した。

表7-2-3 without the project の資本コスト (経済価格)

(単位：百万元)

	1984~88	1989~2000	2001~2013	合計	
道 路	553.488	0	0	553.488	
道路車両	250.682	1,232.108	656.872	2,139.662	
鉄 道	信通	57.69	0	21.194	78.884
	土木	0	0	0	0
	車両	28.928	14.701	0	43.629
合 計	890.788	1,246.809	678.066	2,815.663	

7-2-2 維持・運営費差

(1) 維持費差

1) 鉄道

鉄道設備の維持費、取替費の算定は、中国鉄道部の提出した各設備項目ごとの維持費をベースに維持率を決定し、この維持率を掛けて維持費を算出した。

なお、各鉄道設備を日本国有鉄道で行っているように、償却資産と取替資産に分け、下記の手法で算出した。

- ① 償却資産維持費 = 維持率 × 償却資産の投資価格
- ② 取替資産維持費 = $0.95 / \text{耐用年数} \times \text{維持率} \times \text{取替資産投資価格}$
- ③ 取替資産取替費 = $0.95 / \text{耐用年数} \times \text{取替資産投資価格}$

(注1) 資産別維持率は表7-2-4を参照。

2) 道路

without the project の場合には、通常交通量を運ぶための鉄道設備投資にかかわる維持費・取替費の他に、転換交通量相当分を運ぶために新たに投入されるバス・トラックの維持費がある。

また、転換交通量を賄うために、増設する道路についての維持費を計上する。

(2) 運営費差

1) 鉄道：鉄道運営に必要な以下の運営費差を計上した。

- ① 人件費：プロジェクト実施による乗務員、駅務員、保守要員、本社要員等の増加を計上した。
- ② 動力費：プロジェクト実施にともない、節減される動力費差を計上した。

2) 道路：with/without における車両キロの差（転換交通相当部分）による運営費差を道路交通部分の車両の運営費として計上した。

表7-2-4 主要資産の維持率と耐用年数一覧

項目	資産内容	維持率	耐用年数	資産種類
土木工事	路盤	0.000468	57	償却
	橋梁	0.0027	80	償却
	トンネル	0.000468	90	償却
	軌道	0.051129	25	取替
	建物	0.006669	70	償却
電化電力	変電所	0.000936	20	償却
	電車線	0.0250211	45	取替
	電灯電力	0.0375316	30	取替
通信信号	信号設備	0.02457	15	償却
	通信線路	0.0355679	35	取替
	通信設備	0.036504	15	償却
	信号線路	0.0328685	35	取替
	踏切軌道回路	0.034164	15	償却
車両	E L	0.054	30	償却
	S L	0.071	40	償却
	D L	0.062	30	償却
	機関区機械設備	0.05	18	償却
	貨客車	0.025	20	償却
	客車	0.036	25	償却

(日本国有鉄道実績および中国鉄道部事情を勘案)

7-3 便 益

7-3-1 経費節減便益

with the project と without the project の維持費・運営費の差を経費節減便益として捉えた。

7-3-2 時間節約便益

(I) 旅 客

1) 転換交通による鉄道利用者の時間節約便益

衡陽・広州間の道路利用者の一部が鉄道を利用することが可能となり、より早く目的地へ到着でき、時間節約便益を享受することとなる。鉄道利用者の時間節約便益は下記の式で求められる。

(転換交通相当部分バス乗客人時間 - 転換交通相当部分鉄道乗客人時間) × 鉄道乗客時間価値

2) 通常交通における鉄道利用者の時間節約便益

衡陽・広州間が複線・一部電化されることにより、鉄道利用者は今までにも増して、目的地への到着時間を短縮できる。

この到着時間短縮による時間節約便益は下記の式で求められる。

(without の鉄道乗客人時間 - with の鉄道乗客人時間) × 鉄道乗客時間価値

なお、鉄道乗客時間価値は下表のとおりであるが、下記の式で求められる。

- 平均的乗客1人当り月所得/月平均労働時間×非勤労時間調整値

(元/時間)	
	時間価値
鉄道、バス利用者(大人)	0.112

上記の乗客時間価値は、国民1人当りの国民収入(1981年393元)をベースに計算した。

(2) 貨物

1) 転換交通による貨物金融コスト節減便益

衡陽・広州間の道路輸送貨物の一部が、鉄道へ転換することにより、貨物の目的地への輸送がより迅速となる。これにより荷主は貨物にかかわる金融コストの節減が可能となる。

この金融コスト節減は下記の式で計測される。

$$(\text{転換交通相当トラック貨物} \cdot t \text{時間} - \text{転換交通相当鉄道貨物} \cdot t \text{時間}) \times \text{貨物時間価値}$$

なお、貨物時間価値は0.014元/hと算定した。

2) 通常交通における貨物金融コスト節減便益

今まで鉄道によって輸送されていた貨物についても、プロジェクトの実施により、スピードアップによる貨物金融コスト節減が生ずる。この貨物金融コスト節減便益は下記の式により計測される。

$$(\text{without 鉄道通常相当貨物} t \text{時間} - \text{with 鉄道通常交通相当貨物} t \text{時間}) \times \text{貨物時間価値}$$

なお、貨物の時間価値(1時間当りの金融コスト)算定ベースとなった貨物トン当り価格は以下のとおり。

表7-3-2 広州・衡陽間貨物トン当り価格

品目	積載貨物中の割合	トン当り価格
石炭	31%	42元
コークス	2.34%	85元
石油	1.47%	550元
鋼鉄	8.28%	350元
鉱石	5.42%	32元
非鉄金属	9.3%	15,000元
鉄建	—	—
セメント	1.17%	78元
木材	2.79%	420元
化学肥料	2.57%	458元
糧食(穀物)	2.94%	337.1元
塩	0.51%	287元
その他	32.21%	—
総平均	100%	2,191.36元

注) 貨物の割合は鉄道部の1990年予想による。

3) 貨物滞留時間減少便益

プロジェクトが実施された場合、ヤードにおける貨物の滞留時間が減少する。

この便益を金額化すると表7-3-3のとおりである。

表7-3-3 貨物滞留時間減少便益

(単位：千元)

年	1987	1989	1990	1995	2000	2005	2010
	182	1,364	2,133	6,256	9,665	9,665	9,665

鉄道プロジェクトを実施した場合は、上記の貨物滞留時間減少便益が生ずると考えられるが、今回の経済分析においては、経済分析を安全サイドに行うためにE.I.R.R.からは除外した。

7-4 分析結果と評価

7-4-1 評価指標

当分析はE.I.R.R.を主要評価指標とし、参考としてエネルギー節減効果、雇用機会創出効果、道路交通事故回避効果等の副次的効果を評価することは7-1-3でも述べたとおりである。

7-4-2 分析結果と評価

本プロジェクトのE.I.R.R.は下表にも示したとおり、30%と極めて高い水準にあり、国民経済的観点からみても、効果の高いプロジェクトと考えられる。(なお詳細については、付表7-4-1を参照されたい。)

表7-4-1 E.I.R.R 一覧表

(単位：千元)

計測便益	年度	1987	1989	1990	1995	2000	
鉄道利用者時間 節約便益		0	8,341	8,848	12,883	20,480	E.I.R.R
鉄道貨物金融 コスト節減便益		472	5,273	5,495	6,256	7,510	30,126%
経費節減便益		108,432	209,482	259,691	469,164	847,093	

また、副次的効果は下表に示すとおりである。特にエネルギー節減効果については、動力費節減等の経費節減便益のみならず本プロジェクト実施による節減原油量が、例えば2000年時点では117万tになり、これは1981年時点の中国の原油総生産量10,122万tの約1.15%に相当する。仮りにこの節減された原油が輸出に振り向けられるとすれば、外貨獲得を通じて国民生活の向上に貢献することになる。

また、その他の効果についても中国国民経済の発展に寄与することは明らかである。

表7-4-2 副次的効果一覧表

(単位：千元)

項目	年度	1987	1989	1990	2000
道路交通事故 回避効果		5,953	10,410	12,690	40,058
雇用創出効果 (建設期間) 1984~1988建設期間中 51,725('000人日)		4,881	0	0	0
エネルギー節減効果 原油換算('000kg)		163,610	318,110	385,280	1,170,600

第8章 財務分析

8-1 目的と前提

8-1-1 財務分析実施の目的

中国における鉄道の運営は、国务院機関である中国鉄道部がこれを統一管理している。

今回の京広線（衡陽・広州間）電化・複線化計画に関する投資は、国家によって実施されるが、中国の南北を結ぶ大動脈である本線の当該区間の輸送能力増強が、多大の経済便益を中国にもたらすことは、第7章の経済分析で実証されたとおりである。

財務分析においては、京広線（衡陽・広州間）電化・複線計画実施により、本区間で、どの程度の運賃収入増が期待され、本計画実施が財務的にも健全であるかを確認し、財務的評価を加えることとする。

今回の財務分析においては、以下の諸点を検討することとしたい。

- (1) 本件計画の実施は国民経済的な観点から、その実施意義が立証されたが、財務分析においては本件実施による収支計画から、本計画実施が鉄道部および国家財務にどの程度貢献できるかを検討する。
- (2) 本件計画実施に必要な資金調達にともなう債務負担および資金繰り表（cash flow projection）上の債務返済余力を検討する。（仮りに債務返済を本計画実施による増収部分で賄うと仮定した場合）
- (3) 中国においては、鉄道の公共性から長い間、鉄道運賃（旅客、貨物運賃）が据えおかれているが、本線区の採算面から考えた適切な運賃水準について若干の検討を加えることとする。
- (4) 内部財務収益率の推定を行い、本計画の財務収益性を分析する。

鉄道部の国家に対する売上税、企業税、上納金は鉄道部財務にとって大きな負担であるが、鉄道部が国家組織であり、鉄道部が国家へ支払う諸税金は本計画遂行のための対外債務支払資金に充当されるところに立って、計画の内部財務収益率を推定する。

8-1-2 cash flow projection 検討の前提

本計画実施による輸送力増強にともなう需要増分を捉え、増設部分に帰属する収支および債務負担を検討する。

また、cash flow 計画を作成し、評価を行う方法をとる。

プロジェクトライフ、人民元/日本円の換算率のとり方、インフレーション要因の考え方は経済分析に従うものとした。

なお、経済分析においては、投資額、操業維持費計算は税抜きベースの経済価格を使用した。財務分析においては以下のとおり税金部分を繰り戻して投資額、操業維持費を計算した。

(1) 外貨資金部分（機器・機材）

中国鉄道部は国务院機関であり、輸入資機材については免税措置が受けられるものとした。

(2) 内貨資金部分（機器・機材）

経済分析において引かれている工商統一税を繰り戻して財務価格とした。

(3) 内貨資金部分（労務費・賃金）

経済分析において使用したデータも税金調整不要のものであり、経済分析と同様のデータを用いた。

8-2 cash flow 表の構成項目

8-2-1 中国鉄道部の収支関連項目

(1) 営業収入

第2章輸送需要予測に基づいて毎年の旅客輸送量（人・キロ）および貨物輸送量（トン・キロ）に中国鉄道部より提供された人・キロ、トン・キロ当りの運賃料率を掛けた。

なお、運賃料率は下表のとおりで計画期間中原則不変とした。

人・キロ当り平均運賃	トン・キロ当り平均運賃
0.01895元/人キロ	※0.01465元/トン・キロ

（中国鉄道部提供データ）

※ただし、昨年12月末に貨物運賃20% up が行われたので、これを加味調整すると0.01758元となる。

(2) 営業支出

営業支出は車両、施設の維持費、人件費および動力費を含む操業経費と減価償却費の合計とした。なお、減価償却方法については、中国鉄道部財務担当と協議の結果、定額法によることとした。

なお、減価償却計算に使用する耐用年数は経済分析表7-2-4に示したとおりである。

(3) 営業利益および営業純利益

営業収入から営業支出ならびに工商統一税15%を差し引いたものが営業利益となる。営業利益から、55%の企業税（財政部へ納める）ならびに政府に対して支払う32%の上納金を差し引いたものが、鉄道部そのものの営業純利益となるが、今回は、企業税、上納金はあくまで、国家機関内（鉄道部←→財政部）で移転するもので、かつ、対外借入金の返済にあてられると考えれば、先の営業利益そのものをこの計画純利益として捉えて差しつかえないと考える。

8-2-2 投資および資金調達計画

(1) 投資計画

投資の財務コストは表8-2-1のとおりである。

表8-2-1 投資の財務コスト（京広線）

(単位：千元)

		1984~88	1989~2000	2001~2013	合計
電 化	FC	56,944		20,264	77,208
	LC	20,140		1,210	21,350
信 通	FC	50,304		28,856	79,160
	LC	51,308		30,310	81,618
土 木	FC	489,664		0	489,664
	LC	761,410		0	761,410
土 地	FC	0		0	0
	LC	90,720		0	90,720
車 両	FC	76,160		76,160	152,320
	LC	66,280	159,432	241,189	466,901
機 関 区	FC	5,904		5,904	11,808
	LC	12,590		12,590	25,180
技術協力	FC	17,888		5,503	23,391
	LC	0		4,410	4,410
そ の 他	FC	62,070		0	62,070
	LC	93,616		0	93,616
小 計	FC	758,934		136,687	895,621
	LC	1,096,064	159,432	289,709	1,545,205
	合計	1,854,998	159,432	426,396	2,440,826

注) FC (外貨部分)

LC (内貨部分)

(2) 資金調達計画

本プロジェクトにかかわる投資および資金調達は全て政府が行うこととし、投資資金のうち、外貨部分は海外からの借款、内貨部分は国家予算を前提とした。

なお、資金調達条件は、外貨および内貨につき以下の推定をした。

1) 海外からの借款

二国間公的援助資金

金 利：3.5%p.a.

期 間：30年（10年間据置）

返済方法：20年均等年賦

2) 内貨資金

内貨資金で調達した場合、金利支払および元本返済は不要である。

8-3 分析結果

8-3-1 cash flow分析結果

cash flow 分析の詳細については、付表8-3-1を参照されたい。なお、cash flow 分析の結果をとりまとめると以下のとおりである。

表8-3-1 衡陽・広州間鉄道複線化および電化計画 cash flow

(単位：千元)

項目		1984~1988	1989~2000	2001~2013	合計
cash in	営業利益	28,506	2,098,366	4,185,275	6,312,147
	減価償却	30,484	285,514	427,527	743,525
	借入	840,604	0	0	840,604
	国家予算	1,096,064	0	0	1,096,064
	合計	1,995,659	2,383,880	4,612,802	8,992,341
cash out	投資	1,854,999	126,807	426,396	2,408,202
	建中金利	81,670	0	0	81,670
	元本支払	0	1995年~ 252,180	546,390	798,570
	金利支払	0	324,369	138,646	463,015
	合計	1,936,669	703,356	1,111,432	3,751,457
net cash flow		58,990	1,680,524	3,501,370	5,240,884

注) 本 cash flow 表は上納金および企業税支払前ベースで作成されている。

営業利益、企業税および上納金は下表のとおりである。

(単位：千元)

	1984~1988	1989~2000	2001~2013	合計
営業収入	130,417	3,512,312	6,521,099	10,163,828
営業利益	28,506	2,098,366	4,185,275	6,312,147
営業純利益	3,706	272,789	544,083	820,578
企業税・上納金	24,800	1,825,877	3,641,191	5,491,568

注) 本表には元金・金利支払を含まない。

表8-3-1より判明することは以下のとおりである。

- ・営業項目だけでみれば、87%の企業税・上納金支払後も高い水準の営業純利益が出ている。
- ・しかし、金利元本の支払を考慮した後の cash flow 表をみると、net cash flow の水準は、1989年以降、87%の企業税、上納金を支払える水準にはなく、少なくとも87%の企業税、上納金支払を83%以下に下げる必要が生ずる。

8-3-2 内部財務収益率 (Financial Internal Rate of Return:F.I.R.R)

8-1-1(4)の前提に基づいて、本計画そのものの収益性を示す内部財務収益率を以下の式によって算出した。

$$0 = \sum_{i=1}^{30} \text{net flow } i / (1 + \text{F.I.R.R})^{i-1}$$

内部財務収益率計画の際の net flow は (営業利益+減価償却+残存価格-投資額)で求められる。以上の前提に基づいて推定された F.I.R.R は 8.7%となった。

8-4 結論

本プロジェクトは、プロジェクトそのものの収益力を示す F.I.R.R も 8.7%と適切な水準にあり、プロジェクト実施には財務上も問題はないと考えられる。ただし、87%の上納金、企業税負担は厳しく、健全な資金繰りを確保する為には、税率の若干の低減措置が望まれる。

付 表

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes the need for transparency and accountability in financial reporting.

2. The second part of the document outlines the various methods and techniques used to collect and analyze data. It highlights the importance of using reliable sources and ensuring the accuracy of the information gathered.

3. The third part of the document focuses on the interpretation and analysis of the collected data. It discusses the various statistical tools and techniques used to identify trends and patterns in the data.

4. The fourth part of the document discusses the importance of communication and reporting. It emphasizes the need for clear and concise communication of the findings and conclusions of the study.

5. The fifth part of the document discusses the importance of ethical considerations in research. It highlights the need for researchers to adhere to ethical standards and to be transparent about any potential conflicts of interest.

6. The sixth part of the document discusses the importance of ongoing monitoring and evaluation. It emphasizes the need for researchers to regularly assess the progress of their work and to make adjustments as needed.

7. The seventh part of the document discusses the importance of collaboration and teamwork. It highlights the need for researchers to work together and to share their knowledge and expertise.

8. The eighth part of the document discusses the importance of staying up-to-date on the latest research and developments in the field. It emphasizes the need for researchers to continue to learn and to grow in their profession.

第 2 部

鄭州・宝鷄間複線鐵道電化計画

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ① 石炭

(単位: 万トン)

着地域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鷄沿線										② 宝以 鷄遠	合 計		
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計	
① 鄭州以遠							37	86	10			133	9	142	
鄭州・ 宝鷄 沿線	② 鄭州西														
	③ 上街		136									136		136	
	④ 洛陽東			24	50							74		74	
	⑤ 義馬	408	23	70	158	17	44					312		720	
	⑥ 三門峽		1									1		1	
	⑦ 華泉														
	⑧ 新豐鎮	197					18	71	247	5			341		538
	⑨ 成陽	158						12	270	190	105	33	610	130	898
	⑩ 蔡家坡								4				4		4
	⑪ 宝鷄東								15				15		15
	計	763	160	94	208	17	62	83	536	195	105	33	1,493	130	2,386
② 宝鷄以遠								57				57		57	
合計	763	160	94	208	17	62	120	679	205	105	33	1,683	139	2,585	

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には侯西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ② 石油及び製品

(単位: 万トン)

着地域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鷄沿線										② 宝以 鷄遠	合 計	
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計
① 鄭州以遠		2	9	9	11		5	15	15	22		88	13	101
鄭州・ 宝鷄 沿線	② 鄭州西		3	1								4		4
	③ 上街													
	④ 洛陽東				1	1						2		2
	⑤ 義馬				2	3	3					8		8
	⑥ 三門峽													
	⑦ 華泉								1			1		1
	⑧ 新豐鎮													
	⑨ 成陽													
	⑩ 蔡家坡									1		1	2	3
	⑪ 宝鷄東													
	計			3	4	4	3		1	1		16	2	18
② 宝鷄以遠	17	2						5				7		24
合計	17	4	12	13	15	3	5	21	16	22		111	15	143

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には侯西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目：③コークス

(単位：万トン)

発 地 域	着 地 域	鄭州・宝鷄沿線											⑫ 宝以 鷄遠	合 計	
		① 鄭以 州遠	② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 県	⑧ 新 豊鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計
①	鄭州以遠		1	1				3					5	1	6
鄭州・ 宝鷄 沿線	② 鄭州西														
	③ 上街														
	④ 洛陽東			1	1		1						3		3
	⑤ 義馬														
	⑥ 三門峽														
	⑦ 華県														
	⑧ 新豊鎮							6	2	3			11	3	14
	⑨ 成陽									2	3	1	6	9	15
	⑩ 蔡家坡														
	⑪ 宝鷄東													1	1
	計			1	1		1	6	2	5	3	1	20	13	33
⑫	宝鷄以遠														
合	計		1	2	1		1	9	2	5	3	1	25	14	39

注) 洛陽東地域には宜洛支線，新豊鎮地域には侯西線，成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目：④鉄鋼及び製品

(単位：万トン)

発 地 域	着 地 域	鄭州・宝鷄沿線											⑫ 宝以 鷄遠	合 計	
		① 鄭以 州遠	② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 県	⑧ 新 豊鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計
①	鄭州以遠		6	2	17			5	48	8	1	4	91	66	157
鄭州・ 宝鷄 沿線	② 鄭州西		3	1		1	3						8		8
	③ 上街		2	1	2								5		5
	④ 洛陽東		4	2	7								13		13
	⑤ 義馬				1								1		1
	⑥ 三門峽				1								1		1
	⑦ 華県	1			1						1		2		3
	⑧ 新豊鎮	15						2	1	3	1	3	10	2	27
	⑨ 成陽	8										1	1		9
	⑩ 蔡家坡	2							1				1		3
	⑪ 宝鷄東	1								1			1		2
	計	27	9	4	12	1	3	2	2	4	2	4	43	2	72
⑫	宝鷄以遠	28	3	1	3				10	6	2		25		53
合	計	55	18	7	32	1	3	7	60	18	5	8	159	68	282

注) 洛陽東地域には宜洛支線，新豊鎮地域には侯西線，成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑤金属鉱石

(単位: 万トン)

着 地 域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鷄沿線										⑫ 宝以 鷄遠	合 計		
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新 登鎮	⑨ 咸 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計	
① 鄭州以遠									2			2	15	17	
鄭 州 ・ 宝 鷄 沿 線	② 鄭州西			1		2						3	2	5	
	③ 上街	24											24	48	
	④ 洛陽東	2			1							1		3	
	⑤ 義馬			35								35	2	37	
	⑥ 三門峽		1					1				2		2	
	⑦ 華泉														
	⑧ 新登鎮							1	1			2	1	3	
	⑨ 咸陽														
	⑩ 蔡家坡														
	⑪ 宝鷄東														
	計	26	1	35	1	1	2		2	1		43	29	98	
⑫ 宝鷄以遠	2													2	
合計	28	1	35	1	1	2		2	3		45	44	117		

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新登鎮地域には侯西線, 咸陽地域には咸銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑥非金属鉱石

(単位: 万トン)

着 地 域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鷄沿線										⑫ 宝以 鷄遠	合 計		
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新 登鎮	⑨ 咸 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計	
① 鄭州以遠			15	14		3		17				49	6	55	
鄭 州 ・ 宝 鷄 沿 線	② 鄭州西			2								2		2	
	③ 上街			5								5		5	
	④ 洛陽東	11		5		2					1	8	5	24	
	⑤ 義馬		3		1	2	1		2	4		13		13	
	⑥ 三門峽				2			2	3			7		7	
	⑦ 華泉														
	⑧ 新登鎮	1									1	1	1	3	
	⑨ 咸陽			6						16	1	1	24	3	27
	⑩ 蔡家坡	1													1
	⑪ 宝鷄東														
	計	13	3	11	10	4	1	2	3	18	5	3	60	9	82
⑫ 宝鷄以遠	42	1	6	2				2	10			21		63	
合計	55	4	32	26	4	4	2	22	28	5	3	130	15	200	

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新登鎮地域には侯西線, 咸陽地域には咸銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鶏間貨物地域流動表(1982年)

品目：⑦建築材料

(単位：万トン)

着 地 域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鶏沿線											⑫ 宝以 鶏遠	合 計	
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鶏 東	計			
① 鄭州以遠		56	28	21	4			12				121	6	127	
鄭州・ 宝鶏 沿線	② 鄭州西												4	4	
	③ 上街	10	30	8	10	5	3					56		66	
	④ 洛陽東	5			1	5	1					7		12	
	⑤ 義馬	2			1	13	11					32		34	
	⑥ 三門峽				1							1	4	5	
	⑦ 華泉							14	4	13		31		31	
	⑧ 新豐鎮	18							66	27		93	4	115	
	⑨ 成陽									53	4	3	60		60
	⑩ 蔡家坡										28		28	26	54
	⑪ 宝鶏東											1		1	1
計	35	30	8	13	23	15	14	78	93	32	3	309	38	382	
⑫ 宝鶏以遠	4	1						15				16		20	
合計	39	87	36	34	27	15	14	105	93	32	3	446	44	529	

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には候西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鶏間貨物地域流動表(1982年)

品目：⑧セメント

(単位：万トン)

着 地 域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鶏沿線											⑫ 宝以 鶏遠	合 計
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鶏 東	計		
① 鄭州以遠		4		2				4				10		10
鄭州・ 宝鶏 沿線	② 鄭州西													
	③ 上街	14	1	2								3		17
	④ 洛陽東													
	⑤ 義馬	20		1		5	1					7		27
	⑥ 三門峽													
	⑦ 華泉													
	⑧ 新豐鎮							3				3		3
	⑨ 成陽	3					7	31	9	7	9	63	16	82
	⑩ 蔡家坡									1		1		1
	⑪ 宝鶏東													
計	37	1	3		5	7	35	9	8	9	77	16	130	
⑫ 宝鶏以遠	4													4
合計	41	5		5		5	7	39	9	8	9	87	16	144

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には候西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑨ 材木

(単位: 万トン)

発 地 域	着 地 域	鄭州・宝鷄沿線											⑫ 宝以 鷄遠	合 計	
		① 鄭以 州遠	② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計
①	鄭州以遠		7	7	15	5	2	9	44	6	15		110	28	138
鄭 州 ・ 宝 鷄 沿 線	② 鄭州西									1			1		1
	③ 上街														
	④ 洛陽東														
	⑤ 義馬														
	⑥ 三門峽														
	⑦ 華泉								4				4		4
	⑧ 新豐鎮									5			5	2	7
	⑨ 成陽										2		2	6	9
	⑩ 蔡家坡	1													
	⑪ 宝鷄東														
	計	1							4	8			12	8	21
⑫	宝鷄以遠	12	1							12	2	6	21		33
合	計	13	8	7	15	5	2	9	48	26	17	6	143	36	192

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には侯西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑩ 化学肥料

(単位: 万トン)

発 地 域	着 地 域	鄭州・宝鷄沿線											⑫ 宝以 鷄遠	合 計	
		① 鄭以 州遠	② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計
①	鄭州以遠						3	6					9	14	23
鄭 州 ・ 宝 鷄 沿 線	② 鄭州西				2								2		2
	③ 上街		1	3	2	1							7		7
	④ 洛陽東	11					2						2		13
	⑤ 義馬					2	1						3		3
	⑥ 三門峽														
	⑦ 華泉	2						1	2		3		6	1	9
	⑧ 新豐鎮	1							3		2		5		6
	⑨ 成陽								4				4		4
	⑩ 蔡家坡									10			10		10
	⑪ 宝鷄東														
	計	14	1	3	4	3	3	1	9	10	5		39	1	54
⑫	宝鷄以遠	22								11	8	4	23		45
合	計	36	1	3	4	3	4	15	21	13	4	71	15	122	

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には侯西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ① 穀物

(単位: 万トン)

発地 着地域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鷄沿線											② 宝以 鷄遠	合 計
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新 登鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東	計		
① 鄭州以遠		19	10	14	3	5	2	41	4	2		100	97	197
鄭州・ 宝鷄 沿線	② 鄭州西													
	③ 上街			1								1		1
	④ 洛陽東		1									1		1
	⑤ 義馬			1								1		1
	⑥ 三門峽													
	⑦ 華泉							1				1		1
	⑧ 新登鎮	2						3				3	2	7
	⑨ 成陽								5			5		5
	⑩ 蔡家坡								2	4	4	10		10
	⑪ 宝鷄東								1			1		1
	計	2	1	2				4	8	4	4	23	2	27
② 宝鷄以遠	10													10
合計	12	20	10	16	3	5	2	45	12	6	4	123	99	234

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新登鎮地域には侯西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ② 綿

(単位: 万トン)

発地 着地域	① 鄭以 州遠	鄭州・宝鷄沿線											② 宝以 鷄遠	合 計
		② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新 登鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東	計		
① 鄭州以遠		6		1	1	2	2	7	2			21	6	27
鄭州・ 宝鷄 沿線	② 鄭州西													
	③ 上街													
	④ 洛陽東													
	⑤ 義馬													
	⑥ 三門峽													
	⑦ 華泉							1	2			3		3
	⑧ 新登鎮													
	⑨ 成陽	1								1	1	2		2
	⑩ 蔡家坡													1
	⑪ 宝鷄東									1		1		1
	計	1						1	2	1	1	6		7
② 宝鷄以遠	4								3					7
合計	5	6	1	1	2	3	9	6	1	1	30	6	41	

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新登鎮地域には侯西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑬ 塩

(単位: 万トン)

発 地 域	着 地 域	鄭州・宝鷄沿線											⑫ 宝以 鷄遠	合 計	
		① 鄭以 州遠	② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計
①	鄭州以遠		4	4	2	1	1		2	3	1		18		18
鄭 州 ・ 宝 鷄 沿 線	② 鄭州西														
	③ 上街														
	④ 洛陽東														
	⑤ 義馬														
	⑥ 三門峽														
	⑦ 華泉														
	⑧ 新豐鎮														
	⑨ 成陽														
	⑩ 蔡家坡								2	1			3		3
	⑪ 宝鷄東														
	計								2	1			3		3
⑭	宝鷄以遠	31						1	2	8	2	1	14		45
合 計		31	4	4	2	1	1	1	6	12	3	1	35		66

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には候西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

付表2-4-1 鄭州・宝鷄間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑭ その他

(単位: 万トン)

発 地 域	着 地 域	鄭州・宝鷄沿線											⑫ 宝以 鷄遠	合 計	
		① 鄭以 州遠	② 鄭州 西	③ 上 街	④ 洛陽 東	⑤ 義 馬	⑥ 三門 峽	⑦ 華 泉	⑧ 新豐 鎮	⑨ 成 陽	⑩ 蔡家 坡	⑪ 宝鷄 東			計
①	鄭州以遠				12			4	4	23	14	10	67	264	331
鄭 州 ・ 宝 鷄 沿 線	② 鄭州西	6	1	2	4		3		2	1			13		19
	③ 上街	15		1	2	1	1						5	4	24
	④ 洛陽東				6		4	6		5	1		22	41	63
	⑤ 義馬		2	4	3	1	2						12		12
	⑥ 三門峽		3	5	7	3	1						19		19
	⑦ 華泉	5								3	2	2	7	6	18
	⑧ 新豐鎮	27	2	2	5	1	3	3	6	7	2	2	33	21	81
	⑨ 成陽	14						3	2	5	2	1	13	12	39
	⑩ 蔡家坡	11						3	2	2			7	4	22
	⑪ 宝鷄東	8						1	1	3	1	1	7	2	17
	計	86	8	14	27	6	14	16	13	26	8	6	138	90	314
⑭	宝鷄以遠	318	5	6	13	1	2	6	10	22	16	5	86		404
合 計		404	13	20	52	7	16	26	27	71	38	21	291	354	1,049

注) 洛陽東地域には宜洛支線, 新豐鎮地域には候西線, 成陽地域には成銅支線の輸送量が含まれる。

附表3-2-1 鄭州·宝鷄間基準運轉時分表(旅客特急下り)

停車場			運轉時分		停車時分	旅客扱	停車場			運轉時分		停車時分	旅客扱	停車場			運轉時分		停車時分	旅客扱
駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分			駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分			駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分		
鄭州	571.8	—				◎	張茅	804.1	8.2	6.26	6.30		○	臨潼	1050.9	9.6	7.07	7.30		○
鄭州西	576.4	4.6	4.20	4.30		○	下交口	812.3	6.3	4.56	5.00		◎	窑村	1060.5	7.6	5.38	6.00		○
鉄炉	584.1	7.7	5.42	6.00		○	三門峽	818.6	7.4	5.49	6.00		◎	灊橋	1068.1	6.2	4.36	5.00		○
関帝廟	590.5	6.4	4.44	5.00		○	賀家庄	826.0	4.2	3.36	4.00		○	西安東	1074.3	3.4	3.11	3.30		○
栄陽	598.5	8.0	5.56	6.00		○	張家湾	830.2	10.5	8.22	8.30		○	西安	1077.7	4.7	4.09	4.30	8分	◎
上街	609.0	10.5	7.47	8.00		◎	三門峽西	840.7	4.9	4.21	4.30	5分	◎	西安西	1082.4	4.5	3.20	3.30		○
汜水	614.0	5.0	3.42	4.00		○	五原村	845.6	11.1	8.13	8.30		○	三民村	1086.9	4.0	2.18	2.30		○
穆沟	620.6	6.6	5.25	5.30		○	陽店	856.7	12.6	9.20	9.30		○	三橋	1090.0	6.8	5.02	5.30		○
站街	632.7	12.1	9.08	9.30		○	灵宝	869.3	7.2	5.20	5.30		◎	黄家巷	1096.8	3.9	2.53	3.00		○
鞏縣	642.4	9.7	7.26	7.30		○	焦村	876.5	15.3	11.20	11.30		○	咸陽	1100.7	6.6	4.53	5.00		◎
黑石関	648.0	5.6	4.12	4.30		○	閻郷	891.8	11.6	8.36	9.00		○	咸陽西	1107.3	5.2	3.51	4.00		○
回郭鎮	655.6	7.6	5.38	6.00		○	高柏	903.4	9.4	6.58	7.00		○	茂陵	1112.5	11.9	8.49	9.00		○
偃師	662.5	6.9	5.07	5.30		○	故縣	912.8	7.6	5.38	6.00		○	興平	1124.4	12.8	9.29	9.30		○
首陽山	669.9	7.4	5.27	5.30		○	薛家营	920.4	8.4	6.13	6.30		○	馬嵬坡	1137.2	6.2	4.36	5.00		○
白馬寺	681.1	11.2	8.18	8.30		○	穆爻	928.8	7.4	5.29	5.30		○	羅鼓村	1143.4	7.4	5.29	5.30		○
洛陽東	691.3	10.2	7.33	8.00		○	大要	936.2	8.6	6.22	6.30		○	武功	1150.8	12.1	8.58	9.00		◎
洛陽	696.1	4.8	4.21	4.30	8分	◎	潼関	944.8	11.8	9.16	9.30	8分	◎	楊陵鎮	1162.9	11.0	8.09	8.30		○
洛陽西	703.5	7.4	6.09	6.30		○	孟塬	956.6	8.2	6.45	7.00		○	綉帳	1173.9	10.8	8.00	8.00		○
磁澗	710.8	7.3	5.37	6.00		○	華山	964.8	5.7	4.13	4.30		○	常興	1184.7	13.1	9.42	10.00		○
新安縣	724.6	13.8	10.32	11.00		○	桃下	970.5	5.2	3.51	4.00		○	眉縣	1197.8	10.6	7.51	8.00		○
南崗村	732.9	8.3	6.25	6.30		○	羅敷	975.7	5.4	4.00	4.00		○	蔡家坡	1208.4	10.0	7.24	7.30		○
鉄門	737.8	4.9	3.50	4.00		○	柳枝	981.1	6.1	4.31	5.00		○	陽平	1218.4	12.5	9.16	9.30		○
義馬	750.8	13.0	9.59	10.00		◎	蓮花寺	987.2	7.0	5.11	5.30		○	玢鎮	1230.9	9.4	6.58	7.00		○
湨池	763.2	12.4	9.47	10.00		○	華縣	994.2	9.9	7.20	7.30		○	臥龍寺	1240.3	5.3	3.56	4.00		○
英豪	774.4	11.2	8.43	9.00		○	赤水	1004.1	5.7	4.13	4.30		○	宝鷄東	1245.6	5.2	4.40	5.00		○
観音堂	783.9	9.5	7.49	8.00		○	樹園	1009.8	11.6	8.36	9.00		◎	宝鷄	1250.8					◎
楊連弟	787.0	3.1	2.18	2.30		○	渭南	1021.4	12.7	9.24	9.30		○	合計		分秒	分秒	29分		
廟溝	796.3	9.3	7.54	8.00		○	零口	1034.1	8.7	6.27	6.30		○	到達時分：564分 余裕時分：18分(余裕率35%)						
		7.8	6.20	6.30		○	新豊鎮	1042.8	8.1	6.00	6.00		○							

旅客
凡例 ◎ 特急停車駅
◎ 急行停車駅
○ 普通停車駅

附表3-2-2 鄭州·寶鷄間基準運轉時分表(旅客急行下り)

停車場			運轉時分		停車時分	停車場			運轉時分		停車時分	停車場			運轉時分		停車時分
駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分		駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分		駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分	
	Km	Km				Km	Km				Km	Km					
鄭州	571.8	-				張茅	804.1	8.2	6.55	7.00		臨瀆	1050.9	9.6	7.07	7.30	
鄭州西	576.4	4.6	4.20	4.30		下交口	812.3	6.3	6.01	6.30	3分	密村	1060.5	7.6	5.38	6.00	
鉄炉	584.1	7.7	5.42	6.00		三門峽	818.6	7.4	6.23	6.30	3分	瀨橋	1068.1	6.2	4.36	5.00	
関帝廟	590.5	6.4	4.44	5.00		賀家庄	826.0	4.2	3.36	4.00		西安東	1074.3	3.4	3.11	3.30	
榮陽	598.5	8.0	5.56	6.00		張家湾	830.2	10.5	8.22	8.30		西安	1077.7	4.7	4.09	4.30	8分
上街	609.0	10.5	8.18	8.30	3分	三門峽西	840.7	4.9	4.21	4.30	3分	西安西	1082.4	4.5	3.20	3.30	
汜水	614.0	5.0	4.23	4.30		五原村	845.6	11.1	8.13	8.30		三民村	1086.9	4.0	2.18	2.30	
移沟	620.6	6.6	5.25	5.30		陽店	856.7	12.6	9.51	10.00		三橋	1090.0	6.8	5.02	5.30	
站街	632.7	12.1	9.08	9.30		灵宝	869.3	7.2	5.57	6.00	3分	黄家寨	1096.8	3.9	3.24	3.30	
鞏縣	642.4	9.7	7.26	7.30		焦村	876.5	15.3	11.20	11.30		咸陽	1100.7	6.6	5.34	6.00	
黑石関	648.0	5.6	4.12	4.30		關郷	891.8	11.6	8.36	9.00		咸陽西	1107.3	5.2	3.51	4.00	
回郭鎮	655.6	7.6	5.38	6.00		高柏	903.4	9.4	6.58	7.00		茂陵	1112.5	11.9	8.49	9.00	
偃師	662.5	6.9	5.07	5.30		故縣	912.8	7.6	5.38	6.00		興平	1124.4	12.8	9.29	9.30	
首陽山	669.9	7.4	5.27	5.30		薛家营	920.4	8.4	6.13	6.30		馬葛坡	1137.2	6.2	4.36	5.00	
白馬寺	681.1	11.2	8.18	8.30		豫灵	928.8	7.4	5.29	5.30		羅鼓村	1143.4	7.4	6.00	6.00	3分
洛陽東	691.3	10.2	8.04	8.30	3分	大要	936.2	8.6	6.22	6.30		武功	1150.8	12.1	9.38	10.00	
洛陽	696.1	4.8	5.01	5.30	8分	潼関	944.8	11.8	9.16	9.30	8分	楊陵鎮	1162.9	11.0	8.09	8.30	
磁陽西	703.5	7.4	6.09	6.30		孟塬	956.6	8.2	6.45	7.00		絳帳	1173.9	10.8	8.00	8.00	
磁溝	710.8	7.3	5.37	6.00		華山	964.8	5.7	4.13	4.30		常興	1184.7	13.1	9.42	10.00	
新安縣	724.6	13.8	10.32	11.00		桃下	970.5	5.2	3.51	4.00		眉縣	1197.8	10.6	7.51	8.00	
南崗村	732.9	8.3	6.25	6.30		碾教	975.7	5.4	4.00	4.00		蔡家坡	1208.4	10.0	7.24	7.30	
鉄門	737.8	4.9	3.50	4.00		柳枝	981.1	6.1	4.31	5.00		陽平	1218.4	12.5	9.16	9.30	
義馬	750.8	13.0	10.30	10.30	3分	蓮花寺	987.2	7.0	5.11	5.30		統鎮	1230.9	9.4	6.58	7.00	
逸池	763.2	12.4	10.32	11.00		華縣	994.2	9.9	7.20	7.30		臥龍寺	1240.3	5.3	3.56	4.00	
英豪	774.4	11.2	8.43	9.00		赤水	1004.1	5.7	4.13	4.30		寶鷄東	1245.6	5.2	4.40	5.00	
観音堂	783.9	9.5	7.49	8.00		樹園	1009.8	11.6	9.07	9.30	3分	寶鷄	1250.8				
楊連弟	787.0	3.1	2.18	2.30		渭南	1021.4	12.7	10.05	10.30		合計			527分00秒	546分00秒	54分
廟溝	796.3	9.3	7.54	8.00		零口	1034.1	8.7	6.27	6.30		到達時分：600分 余裕時分：19分(余裕率3.6%)					
		7.8	6.20	6.30		新豊鎮	1042.8	8.1	6.00	6.00							

附表 3-2-3 鄭州北·寶鷄東間基準運轉時分表(直通貨物上り 3500 吨)

停車場			運轉時分		停車時分	貨物扱	停車場			運轉時分		停車時分	貨物扱	停車場			運轉時分		停車時分	貨物扱
駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分			駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分			駅名	キロ程	駅間距離	計算基準運轉時分	查定基準運轉時分		
	Km	Km					Km	Km				Km	Km							
							張茅	804.1	6.8	8.07	8.30		臨澧	1050.9	9.6	9.09	9.30			
							下交口	810.9	7.7	9.38	10.00		窑村	1060.5	7.6	7.52	8.00			
鄭州北	576.0					回	三門峽	818.6	7.4	8.37	9.00		瀾橋	1068.1	6.2	7.39	8.00			
鉄炉	584.1	8.1	10.30	10.30			賈家庄	826.0	4.2	4.00	4.00		西安東	1074.3	3.4	4.33	5.00	15分	回	
關帝廟	590.5	6.4	6.06	6.30			張家湾	830.2	10.5	11.27	11.30		西安	1077.7	4.7	4.58	5.00			
柴陽	598.5	8.0	7.37	8.00			三門峽西	840.7	4.9	5.33	6.00	15分	西安西	1082.4	4.5	4.35	5.00		回	
上街	609.0	10.5	12.23	12.30			五原村	845.6	11.1	10.34	11.00		三民村	1086.9	4.0	3.21	3.30			
汜水	614.0	5.0	6.15	6.30	8分		陽店	856.7	12.6	16.53	17.00		三橋	1090.0	6.8	6.29	6.30			
穆沟	620.6	6.6	6.46	7.00			灵宝	869.3	7.2	7.44	8.00	15分	黄家寨	1096.8	3.9	5.28	5.30			
站街	632.7	12.1	10.46	11.00			焦村	876.5	15.3	17.35	18.00		咸陽	1100.7	6.6	7.10	7.30	4分		
靈縣	642.4	9.7	10.35	11.00	8分		關鄉	891.8	11.6	12.23	12.30		咸陽西	1107.3	5.2	4.57	5.00			
黑石関	648.0	5.6	7.09	7.30			高柏	903.4	9.4	8.57	9.00		茂陵	1112.5	11.9	11.20	11.30			
回郭鎮	655.6	7.6	7.17	7.30			故縣	912.8	7.6	7.14	7.30		興平	1124.4	12.8	12.11	12.30			
偃師	662.5	6.9	6.34	7.00			許家营	920.4	8.4	8.24	8.30		馬嵬坡	1137.2	6.2	5.54	6.00			
首陽山	669.9	7.4	7.03	7.30			豫灵	928.8	7.4	7.03	7.30		羅鼓村	1143.4	7.4	8.48	9.00			
白馬寺	681.1	11.2	10.40	11.00			大要	936.2	8.6	9.56	10.00		武功	1150.8	12.1	12.24	12.30	4分		
洛陽東	691.3	10.2	11.28	11.30	35分	回	潼関	944.8	11.8	14.51	15.00	8分	楊陵鎮	1162.9	11.0	10.29	10.30			
洛陽	696.1	4.8	5.27	5.30			孟塬	956.6	8.2	10.06	10.30	8分	絳帳	1173.9	10.8	10.17	10.30			
洛陽西	703.5	7.4	7.03	7.30			華山	964.8	5.7	6.34	7.00		常興	1184.7	13.1	13.06	13.30			
磁澗	710.8	7.3	6.57	7.00			桃下	970.5	5.2	6.06	6.30		眉縣	1197.8	10.6	10.06	10.30			
新安縣	724.6	13.8	13.09	13.30			靈敷	975.7	5.4	5.36	6.00		蔡家坡	1208.4	10.0	9.31	10.00			
南崗村	732.9	8.3	7.54	8.00			柳枝	981.1	6.1	6.16	6.30		陽平	1218.4	12.5	11.54	12.00			
鉄門	737.8	4.9	4.40	5.00			蓮花寺	987.2	7.0	6.40	7.00		統鎮	1230.9	9.4	8.57	9.00			
義馬	750.8	13.0	13.20	13.30			華縣	994.2	9.9	9.58	10.00		臥龍寺	1240.3	5.3	6.48	7.00			
澗池	763.2	12.4	12.43	13.00			赤水	1004.1	5.7	5.26	5.30		寶鷄東	1245.6						
英豪	774.4	11.2	11.29	11.30			樹園	1009.8	11.6	13.20	13.30									
觀音堂	783.9	9.5	9.45	10.00			渭南	1021.4	12.7	13.37	14.00	4分								
楊連弟	787.0	3.1	3.20	3.30			零口	1034.1	8.7	8.47	9.00									
廟灣	796.3	9.3	10.20	10.30			新豐鎮	1042.8	8.1	8.10	8.30									
		7.8	9.02	9.30																
													合計		703分00秒	723分00秒	124分			
													到達時分：847分 余裕時分：20分(余裕率3%)							

貨物
凡例 □ 貨物扱駅
回 地区中心貨物扱駅

S(ノキ-リ)	V	RI-EL	R2-PC	R3-FC	R4-FC	EL+PC	EL+FC	EL+(2R)+FC	S(2ラ-リ)	EL(2R)+FC	EL+V	
0	0	226.32	1411	2142	3745	1637.32	2368.32	3971.32	-10	4197.64	-33394	-12745.5
0	10	249.228	1487.92	2542.54	3866.1	1737.15	2791.77	4115.33	-10	4364.56	-33211.6	-12588.2
0	20	279.312	1591.2	3060.96	4152.4	1870.51	3340.27	4431.71	-10	4711.02	-32846.4	-12778.6
0	30	316.572	1720.82	3697.26	4603.9	2037.4	4013.83	4920.47	-10	5237.04	-32298.3	-12116.8
0	40	361.008	1876.8	4451.44	5220.5	2237.81	4812.45	5581.61	-10	5942.62	-31567.3	-11802.8
0	50	412.62	2059.13	5323.5	6002.5	2471.75	5736.12	6415.12	-10	6827.74	-30653.5	-11436.5
0	60	471.408	2267.8	6313.44	6949.6	2739.21	6784.85	7421.01	-10	7892.42	-29556.8	-11018
0	70	537.372	2502.82	7421.26	8061.9	3040.2	7958.63	8599.27	-10	9136.65	-28277.3	-10547.3
0	80	610.512	2764.2	8646.96	9339.4	3374.71	9257.47	9949.91	-10	10560.4	-26814.8	-10024.3
0	90	690.828	3051.93	9990.54	10782.1	3742.75	10681.4	11472.9	-10	12163.8	-25169.5	-9449.12
2	0	502.32	3111	4942	10745	3613.32	5444.32	11247.3	-12	11749.6	-40946	-15821.5
2	10	525.228	3187.92	5342.54	10866.1	3713.15	5867.77	11391.3	-12	11916.6	-40763.6	-15664.2
2	20	555.312	3291.2	5860.96	11152.4	3846.51	6416.27	11707.7	-12	12263	-40398.4	-15454.6
2	30	592.572	3420.83	6497.26	11603.9	4013.4	7089.83	12196.5	-12	12789	-39850.3	-15192.8
2	40	637.008	3576.8	7251.44	12220.6	4213.81	7888.45	12857.6	-12	13494.6	-39119.3	-14878.8
2	50	688.62	3759.12	8123.5	13002.5	4447.75	8812.12	13691.1	-12	14379.7	-38205.5	-14512.5
2	60	747.408	3967.8	9113.44	13949.6	4715.21	9860.85	14697	-12	15444.4	-37108.8	-14034
2	70	813.372	4202.83	10221.3	15061.9	5016.2	11034.6	15875.3	-12	16688.6	-35829.1	-13624.1
2	80	886.512	4464.2	11447	16339.4	5350.71	12333.5	17225.9	-12	18112.4	-34366.8	-13100.3
2	90	966.828	4751.93	12790.5	17782.1	5718.75	13757.4	18748.9	-12	19715.8	-32721.5	-12525.1
4	0	778.32	4811	7742	17745	5589.32	8520.32	18533.3	-14	19301.6	-48498	-18897.5
4	10	801.228	4887.93	8142.54	17866.1	5689.15	8943.77	18667.3	-14	19468.6	-48315.6	-18740.2
4	20	831.312	4991.2	8660.96	18152.4	5822.51	9492.27	18983.7	-14	19815	-47950.4	-18510.6
4	30	868.572	5120.82	9297.26	18603.9	5989.4	10165.8	19472.5	-14	20341	-47402.3	-18268.8
4	40	913.008	5276.8	10051.4	19220.6	6189.81	10964.4	20133.6	-14	20341	-46671.3	-17954.8
4	50	964.62	5459.13	10923.5	20002.5	6423.75	11888.1	20967.1	-14	21931.7	-45757.5	-17588.5
4	60	1023.41	5667.8	11913.4	20949.6	6691.21	12916.8	21973	-14	22906.4	-44660.8	-17170
4	70	1089.37	5902.82	13021.3	22061.9	6992.2	14110.6	23151.3	-14	24240.6	-43381.3	-16699.3
4	80	1162.51	6154.2	14247	23339.4	7326.71	15409.5	24501.9	-14	25664.4	-41918.8	-16176.1
4	90	1242.83	6451.93	15590.5	24782.1	7694.75	16833.4	26024.9	-14	27267.8	-40273.6	-15601.1
6	0	1054.32	6511	10542	24745	7565.32	11596.3	25799.3	-16	26859.6	-56050	-21971.5
6	10	1077.23	6587.93	10942.5	24866.1	7665.15	12019.8	25943.3	-16	27020.6	-55867.6	-21816.2
6	20	1107.31	6691.2	11461	25152.4	7798.51	12568.3	26259.7	-16	27367	-55502.4	-21606.6
6	30	1144.57	6820.82	12097.3	25603.9	7965.4	13241.8	26748.5	-16	27893	-54954.1	-21344.8
6	40	1189.01	6976.8	12851.4	26220.6	8165.81	14040.4	27409.6	-16	28598.6	-54223.3	-21010.8
6	50	1240.62	7159.13	13723.5	27002.5	8399.75	14964.1	28243.1	-16	29483.7	-53309.5	-20664.5
6	60	1299.41	7367.8	14713.4	27949.6	8667.21	16012.6	29249	-16	30548.4	-52212.8	-20246
6	70	1365.37	7602.83	15821.3	29061.9	8968.2	17180.6	30427.3	-16	31792.6	-50933.1	-19775.1
6	80	1438.51	7864.2	17047	30339.4	9302.71	18485.5	31777.9	-16	33216.4	-49470.8	-19252.1
6	90	1510.83	8151.92	18190.5	31782.1	9670.75	19909.4	33300.9	-16	34819.8	-47825.6	-18677.1

**** 走行抵抗 中国 ****

付表 4-2-1 走行抵抗計算結果一その1
R2 PCの走行抵抗 850t
R3 PC(空)の走行抵抗 1400トン
R4 PC(積)の走行抵抗 3500トン
R5 FC(積)の走行抵抗 3500トン
R6 PCの走行抵抗 850トン

付表4-2-1 走行抵抗計算結果一その2

8	8	1330.32	8211	13342	31745	9541.32	14672.3	37075.3	34405.6	-18	-63602	-25049.5
8	10	1353.23	8287.92	13742.5	31866.1	9611.15	15095.8	13219.3	34572.6	-18	-64119.6	-24892.1
8	20	1383.31	8391.2	14261	32152.4	9774.51	15644.3	33535.7	34919	-18	-63054.4	-24682.6
8	30	1420.57	8520.82	14897.3	32603.9	9941.4	16317.8	34024.5	35445	-18	-62506.3	-24420.8
8	40	1465.01	8676.8	15651.4	33220.6	10141.8	17116.4	34685.6	36150.6	-18	-61775.1	-24106.8
8	50	1516.62	8859.13	16523.5	34002.5	10375.7	18040.1	35519.1	37035.7	-18	-60861.5	-23740.5
8	60	1575.41	9067.8	17513.4	34949.6	10643.2	19088.8	36525	38100.4	-18	-59764.8	-23122
8	70	1641.37	9302.83	18621.3	36061.9	10944.2	20262.6	37703.3	39344.6	-18	-58485.1	-22851.3
8	80	1714.51	9564.2	19847	37339.4	11278.7	21561.5	39053.9	40768.4	-18	-57022.8	-22428.3
8	90	1794.83	9851.92	21190.5	38782.1	11646.8	22985.4	40576.9	42371.8	-18	-55377.5	-21751.1
10	0	1606.32	9911	16142	38745	11517.3	17748.3	40351.3	41957.6	-20	-71154	-28125.5
10	10	1629.23	9987.92	16542.5	38866.1	11617.2	18171.8	40495.3	42124.6	-20	-70971.6	-27968.2
10	20	1659.31	10091.2	17061	39152.4	11750.5	18720.3	40811.7	42471	-20	-70606.4	-27758.6
10	30	1696.57	10220.8	17697.3	39603.9	11917.4	19393.8	41300.5	42997	-20	-70058.1	-27496.8
10	40	1741.01	10376.8	18451.4	40220.6	12117.8	20192.4	41961.6	43702.6	-20	-69327.3	-27182.8
10	50	1792.62	10559.1	19323.5	41002.5	12351.7	21116.1	42795.1	44587.7	-20	-68413.5	-26816.5
10	60	1851.41	10767.8	20313.4	41949.6	12619.2	22164.8	43801	45652.4	-20	-67316.8	-26398
10	70	1917.37	11002.8	21421.3	43061.9	12920.2	23338.6	44979.3	46896.6	-20	-66037.2	-25927.3
10	80	1990.51	11264.2	22647	44339.4	13254.7	24637.5	46329.9	48320.4	-20	-64574.8	-25404.1
10	90	2070.83	11551.9	23990.5	45782.1	13622.8	26061.4	47852.9	49923.8	-20	-62929.5	-24829.1
12	0	1882.32	11611	18942	45745	13493.3	20824.3	47627.3	49509.6	-22	-78706	-31201.5
12	10	1905.23	11687.9	19342.5	45866.1	13591.2	21247.8	47771.3	49676.6	-22	-78523.6	-31041.2
12	20	1935.31	11791.2	19861	46152.4	13726.5	21796.3	48087.7	50021	-22	-78158.4	-30811.6
12	30	1972.57	11920.8	20497.3	46603.9	13893.4	22469.8	48576.5	50549	-22	-77610.1	-30572.8
12	40	2017.01	12076.8	21251.4	47220.6	14093.8	23268.4	49237.6	51254.6	-22	-76879.3	-30258.8
12	50	2068.62	12259.1	22129.5	48002.5	14327.7	24192.1	50071.1	52139.7	-22	-75965.5	-29892.5
12	60	2127.41	12467.8	23113.4	48949.6	14595.2	25240.8	51077	53204.4	-22	-74868.8	-29474
12	70	2193.37	12702.8	24221.3	50061.9	14896.2	26414.6	52255.3	54448.6	-22	-73589.1	-29001.4
12	80	2266.51	12964.2	25447	51339.4	15230.7	27713.5	53605.9	55872.4	-22	-72126.8	-28480.4
12	90	2346.83	13251.9	26790.5	52782.1	15598.8	29137.4	55128.9	57475.8	-22	-70481.6	-27905.1
14	0	2158.32	13311	21742	52745	15469.1	23900.3	54903.3	57061.6	-24	-86258	-34277.5
14	10	2181.23	13387.9	22142.5	52866.1	15569.2	24323.8	55047.3	57228.6	-24	-86075.6	-34102.2
14	20	2211.31	13491.2	22661	53152.4	15702.5	24872.1	55367.7	57575	-24	-85710.4	-33910.6
14	30	2248.57	13620.8	23297.3	53603.9	15869.8	25545.8	55852.5	58101	-24	-85162.3	-33618.8
14	40	2293.01	13776.8	24051.4	54220.6	16069.8	26344.4	56513.6	58806.6	-24	-84431.3	-33144.8
14	50	2344.62	13959.1	24923.5	55002.5	16303.7	27268.1	57347.1	59691.7	-24	-83517.5	-32668.5
14	60	2403.41	14167.8	25913.4	55949.6	16571.2	28316.8	58353	60756.4	-24	-82420.8	-32550
14	70	2469.37	14402.8	27021.3	57061.9	16872.2	29490.6	59531.3	62000.6	-24	-81141.1	-32049.1
14	80	2542.51	14664.2	28247	58339.4	17206.7	30789.5	60801.9	63421.4	-24	-79678.8	-31556.1
14	90	2622.83	14951.9	29590.5	59783.1	17574.8	32111.3	62301.9	65027.8	-24	-78011.6	-30901.6

附表 8-3-1 鄭州·宝雞間電化計畫財務分析

FINANCIAL ANALYSIS FOR BOKUAI SCH (CASE 1)
 (RMB YUAN 1000)

	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013					
PROFIT & LOSS STATEMENT																																			
OPERATING PROFIT	-185	-1262	19606	45327	69297	83359	89195	124640	162340	202806	246036	290920	336749	389183	445014	503799	565049	622251	661532	682532	691532	697001	696403	696403	696403	696403	696403	696403	696403	696403	696403	696403			
OPERATING REVENUE			89667	120244	153081	180394	222594	266773	314055	364441	418744	476590	530423	604498	675009	750487	830893	910893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893			
SALES TAX			13450	18037	22962	28250	33389	40016	47108	54696	62812	71489	80763	90675	101263	112573	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634	124634			
OPERATING EXPENSE	185	1262	56531	56880	80822	76776	100030	102117	104607	107049	109096	114182	120910	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641	124641			
WORKING COST	185	1262	39119	39460	43409	59363	71375	72289	74778	75843	78691	80988	87717	89511	120812	134235	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220	144220			
MAINTENANCE COST			19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771	19771			
PERSONNEL COST			825	2741	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147	3147			
ENERGY COST			18072	18072	20897	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445	36445		
DEPRECIATION			17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413	17413			
ROYALTY & TAX PAYMENT	-161	-1098	17127	39434	60288	72522	77599	108437	141236	176520	214051	251002	292972	338589	387163	438105	491592	548158	608532	670532	734001	798403	864403	931403	998403	1066403	1135403	1205403	1276403	1348403	1421403				
RETAINED PROFIT	-24	-164	2559	5892	9089	10837	11595	16103	21104	26376	31985	37820	43777	50594	57852	65494	73456	81893	90893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893	930893			
CAPITAL EXPENDITURE																																			
INVESTMENT	115270	442601	127527	138500	208019	-28275	25962	30028	40298	45068	59283	-163	57827																						
FOREIGN TOTAL	72122	371609	85103	65165	36284																														
LOCAL TOTAL	43148	71073	42424	73335	171735	-28275	25962	30028	48298	45068	59283	-163	57827	13445																					
ELECTRIFICATION	50865	56251	57384	50705	26292																														
FOREIGN CURRENCY	43208	48440	46488	37704	20192																														
LOCAL CURRENCY	4857	7811	10896	12999	6102																														
SIGNAL & TEL.	24630	21432	14259	21432	21432																														
FOREIGN CURRENCY	11720	12222	10967	12222	12222																														
LOCAL CURRENCY	2910	19210	3302	19210	10505																														
CIVIL WORK	31695	39259	59188	15529	7618																														
FOREIGN CURRENCY	8816	8833	17967	7576	4128																														
LOCAL CURRENCY	25479	50426	41221	7953	3490																														
LAND ACQ. & COMP.	3832	4849	346	82																															
LOCAL CURRENCY	3832	4849	346	82																															
ROLLING STOCK	292480	12500	26950	148299		25962	30028	49436	45068	59283	30283																								
FOREIGN CURRENCY	292480																																		
LOCAL CURRENCY		12500	26950	148299		25962	30028	49436	45068	59283	30283																								
KIKAKU	2449	3168	2335	2935	1246																														
FOREIGN CURRENCY	544	672	378	152	48																														
LOCAL CURRENCY	2105	2516	1959	1943	1208																														
TECHNICAL COOPERATION	1568	1568	1568	1568																															
FOREIGN CURRENCY	1568	1568	1568	1568																															
LOCAL CURRENCY																																			
DESIGNING	560	560																																	
FOREIGN CURRENCY	560	560																																	
OTHERS<10% CONST. COST>	10460	13455	13507	10141	5429																														
FOREIGN CURRENCY	6506	7196	7737	5922	3299																														
LOCAL CURRENCY	3954	6259	5770	4219	2130																														
REUSE OF EX-BILL.			-33550			-28275																													
FOREIGN CURRENCY																																			
LOCAL CURRENCY			-33550			-28275																													
SALVAGE VALUE																																			
INT. DURING CONST.	1904	12425	18419	21547	23844	25011																													
FINANCE PROGRAM																																			
FINANCE TOTAL																																			
BORROWING	74026	384034	103522	86692	60130	25011																													
BUDGET	43156	71073	42424	73356	171735	-28275																													
REPAYMENT	74026	450060	561582	648274	708485																														

第 3 部

衡陽・広州間鉄道複線化及び電化計画



付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ① 石炭

(単位: 万トン)

発 地 域	着 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計		
		① 衡陽以遠	② 衡陽	③ 耒陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶關	⑧ 馬垵	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港		⑬ その他	
衡陽・ 広州間 沿線	① 衡陽以遠							4	45			76	125	44	68	237	
	② 衡陽																
	③ 耒陽	74	40	6								10	56		7	137	
	④ 許家洞	110	19	7	107	20		2	13	5		15	188		12	310	
	⑤ 郴州	23													17	40	
	⑥ 坪石	14						18	13	76	2	20	82	211	45	90	360
	⑦ 韶關								10	6	7	10	33	5	9	47	
	⑧ 馬垵								3					3		3	
	⑨ 旧横石																
	⑩ 新街																
	⑪ 廣州															14	14
	計	221	59	13	107	20	18	15	102	13	27	117	491	50	149	911	
広州以遠	⑫ 黄埔港								20				20			20	
	⑬ その他																
合計		221	59	13	107	20	18	19	167	13	27	193	636	94	217	1,168	

注) 耒陽地域には来新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ②石油及び製品

(単位: 万トン)

発 地 域	着 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計	
		① 衡陽以遠	② 衡陽	③ 耒陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶關	⑧ 馬垵	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港		⑬ その他
衡陽・ 広州間 沿線	① 衡陽以遠		1	2	7		11	2	2	1	39		65		18	83
	② 衡陽															
	③ 耒陽															
	④ 許家洞															
	⑤ 郴州															
	⑥ 坪石															
	⑦ 韶關															
	⑧ 馬垵															
	⑨ 旧横石															
	⑩ 新街															
	⑪ 廣州															
	計		1	2	7		11	2	2	1	39		65		18	83
広州以遠	⑫ 黄埔港															
	⑬ その他										15		15			15
合計			1	2	7		11	2	2	1	54		80		18	98

注) 耒陽地域には来新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ③コークス

(単位: 万トン)

発地 着地 地域	① 衡陽以遠	衡陽・広州間沿線										広州以遠		合 計	
		② 衡陽	③ 米陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶関	⑧ 馬坝	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港		⑬ その他
① 衡陽以遠				1		5				3		9		1	10
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽														
	③ 米陽	1													1
	④ 許家洞		2		2				1		5				5
	⑤ 郴州														
	⑥ 坪石														
	⑦ 韶関														
	⑧ 馬坝										1	1			1
	⑨ 旧横石														
	⑩ 新街														
	⑪ 廣州														
計	1	2		2					1	1	6			7	
広州以遠	⑫ 黄埔港														
	⑬ その他														
合計	1	2		3		5			4	1	15		1	17	

注) 米陽地域には米新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ④鉄鋼及び製品

(単位: 万トン)

発地 着地 地域	① 衡陽以遠	衡陽・広州間沿線										広州以遠		合 計	
		② 衡陽	③ 米陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶関	⑧ 馬坝	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港		⑬ その他
① 衡陽以遠						3	4	8		4	44	63		7	70
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽			2	2							4			4
	③ 米陽					2						2			2
	④ 許家洞														
	⑤ 郴州					2						2			2
	⑥ 坪石											1			1
	⑦ 韶関														
	⑧ 馬坝	14	3			2					5	10	1		25
	⑨ 旧横石	4													4
	⑩ 新街										4	4			4
	⑪ 廣州	12									5	5		9	26
計	30	4	2	2	6					14	28	1	9	68	
広州以遠	⑫ 黄埔港	15									2	2			17
	⑬ その他										4	7			7
合計	45	7	2	2	6	3	4	8		4	64	100	1	162	

注) 米陽地域には米新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑤ 金属鉱石

(単位: 万トン)

着 地 域	発 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計
		① 衡陽 以遠	② 衡 陽	③ 米 陽	④ 許 家 洞	⑤ 郴 州	⑥ 坪 石	⑦ 韶 関	⑧ 馬 唄	⑨ 旧 横 石	⑩ 新 街	⑪ 広 州	計	⑫ 黄 埔 港	
衡陽・ 広州間 沿線	① 衡陽以遠						7					7		3	10
	② 衡陽		2									2			2
	③ 米陽		4									4			4
	④ 許家洞		1	2								3			3
	⑤ 郴州	28													28
	⑥ 坪石	21				1	1					1	3		24
	⑦ 韶関	1													1
	⑧ 馬唄	71		2					13				15		86
	⑨ 旧横石	4													4
	⑩ 新街	4													4
	⑪ 広州	27													27
計	156	7	4		1	1		13			1	27		183	
広州 以遠	⑫ 黄埔港	42													42
	⑬ その他	5													5
合 計	203	7	4		1	1	7	13			1	34		3	240

注) 米陽地域には米新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑥ 非金属鉱石

(単位: 万トン)

着 地 域	発 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計	
		① 衡陽 以遠	② 衡 陽	③ 米 陽	④ 許 家 洞	⑤ 郴 州	⑥ 坪 石	⑦ 韶 関	⑧ 馬 唄	⑨ 旧 横 石	⑩ 新 街	⑪ 広 州	計	⑫ 黄 埔 港		⑬ そ の 他
衡陽・ 広州間 沿線	① 衡陽以遠						9	2	11	1	8	20	51		51	
	② 衡陽															
	③ 米陽	1													1	
	④ 許家洞															
	⑤ 郴州	11													11	
	⑥ 坪石	14													14	
	⑦ 韶関	4	3										3		7	
	⑧ 馬唄											45	45	2	37	84
	⑨ 旧横石															
	⑩ 新街			3									3		3	
	⑪ 広州		1	9	4	2							16		6	22
計	30	4	12	4	2						45	67	2	43	142	
広州 以遠	⑫ 黄埔港															
	⑬ その他		3										3		3	
合 計	30	7	12	4	2	9	2	11	1	8	65	121	2	43	196	

注) 米陽地域には米新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目：⑦建築材料

(単位：万トン)

発地 地域	着地 地域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合計	
		① 衡陽以遠	② 衡陽	③ 来陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶関	⑧ 馬坝	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港		⑬ その他
①	衡陽以遠					14	3	3	13	15	23	73	2	15	90	
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽													6	6	
	③ 来陽													3	3	
	④ 許家洞				12	2						14		10	24	
	⑤ 郴州				3	5						8			8	
	⑥ 坪石	15			3							3			18	
	⑦ 韶関	1													1	
	⑧ 馬坝	7													7	
	⑨ 旧横石	5													5	
	⑩ 新街		4										4		4	
	⑪ 廣州															
	計	28	4		6	17	2					29		19	76	
広州以遠	⑫ 黄埔港															
	⑬ その他	1	5	14	16							35			36	
合計		29	9	14	22	17	16	3	5	13	15	23	137	2	34	202

注) 来陽地域には来新支線, 許家洞地域には真許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目：⑧セメント

(単位：万トン)

発地 地域	着地 地域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合計	
		① 衡陽以遠	② 衡陽	③ 来陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶関	⑧ 馬坝	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港		⑬ その他
①	衡陽以遠					1						43	44	4	45	93
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽															
	③ 来陽				2								2		2	
	④ 許家洞		2	3	1	5							11		11	
	⑤ 郴州					1							1		1	
	⑥ 坪石						4	2	1				7		7	
	⑦ 韶関										2		2		2	
	⑧ 馬坝										1	8	9		10	19
	⑨ 旧横石															
	⑩ 新街															
	⑪ 廣州														3	3
	計		2	3	3	6	4	2	1		3	8	32		13	45
広州以遠	⑫ 黄埔港															
	⑬ その他															
合計			2	3	3	7	4	2	1		3	51	76	4	58	138

注) 来陽地域には来新支線, 許家洞地域には真許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目：⑨ 材木

(単位：万トン)

着 地 域	発 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計	
		① 衡陽 以遠	② 衡 陽	③ 米 陽	④ 許家 洞	⑤ 郴 州	⑥ 坪 石	⑦ 韶 関	⑧ 馬 垵	⑨ 旧横 石	⑩ 新 街	⑪ 広 州	計	⑫ 黄埔 港		⑬ その 他
衡陽・ 広州間 沿線	① 衡陽以遠						3				1	5	9			9
	② 衡陽															
	③ 米陽	1														1
	④ 許家洞	6														6
	⑤ 郴州	7														7
	⑥ 坪石	25														25
	⑦ 韶関	24														24
	⑧ 馬垵	5														5
	⑨ 旧横石	3	1											1		4
	⑩ 新街	2														2
	⑪ 広州	1														1
	計	74	1										1		75	
広州以遠	⑫ 黄埔港		2	1	5								6		8	
	⑬ その他			1	5	1	1						8		8	
	合計	76	2	6	5	1	4			1	5	24			100	

注) 米陽地域には米新支線、許家洞地域には資許支線、坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目：⑩ 化学肥料

(単位：万トン)

着 地 域	発 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計	
		① 衡陽 以遠	② 衡 陽	③ 米 陽	④ 許家 洞	⑤ 郴 州	⑥ 坪 石	⑦ 韶 関	⑧ 馬 垵	⑨ 旧横 石	⑩ 新 街	⑪ 広 州	計	⑫ 黄埔 港		⑬ その 他
衡陽・ 広州間 沿線	① 衡陽以遠						3	4	3	2			12			12
	② 衡陽	16														16
	③ 米陽															
	④ 許家洞	12														12
	⑤ 郴州	3														3
	⑥ 坪石	2														2
	⑦ 韶関															
	⑧ 馬垵															
	⑨ 旧横石															
	⑩ 新街															
	⑪ 広州	4														4
	計	37													37	
広州以遠	⑫ 黄埔港		24												24	
	⑬ その他	12	2	5	2	7	2			1	1	2	22		34	
	合計	73	2	5	2	7	5	4	3	3	1	2	34		107	

注) 米陽地域には米新支線、許家洞地域には資許支線、坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ① 穀物

(単位: 万トン)

着 地 域	発 地 域	① 衡陽 以遠	衡陽・広州間沿線										広州以遠		合 計
			② 衡 陽	③ 来 陽	④ 許 家 洞	⑤ 郴 州	⑥ 坪 石	⑦ 韶 関	⑧ 馬 垵	⑨ 旧 横 石	⑩ 新 街	⑪ 広 州	計	⑫ 黄 埔 港	
①	衡陽以遠					2	6	2	1	1	41	53		11	64
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽		1	2	5							8			8
	③ 来陽		2									2			2
	④ 許家洞	2	1									1			3
	⑤ 郴州	4													4
	⑥ 坪石	2													2
	⑦ 韶関	1													1
	⑧ 馬垵	1													1
	⑨ 旧横石														
	⑩ 新街	1													1
	⑪ 廣州	1													1
		計	12	3	1	2	5						11		23
広州 以遠	⑫ 黄埔港	7													7
	⑬ その他	9													9
合計		28	3	1	2	5	2	6	2	1	41	64		11	103

注) 来陽地域には来新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑫ 綿

(単位: 万トン)

着 地 域	発 地 域	① 衡陽 以遠	衡陽・広州間沿線										広州以遠		合 計
			② 衡 陽	③ 来 陽	④ 許 家 洞	⑤ 郴 州	⑥ 坪 石	⑦ 韶 関	⑧ 馬 垵	⑨ 旧 横 石	⑩ 新 街	⑪ 広 州	計	⑫ 黄 埔 港	
①	衡陽以遠						1				3	4		1	5
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽														
	③ 来陽														
	④ 許家洞														
	⑤ 郴州														
	⑥ 坪石														
	⑦ 韶関														
	⑧ 馬垵														
	⑨ 旧横石														
	⑩ 新街														
	⑪ 廣州														
		計													
広州 以遠	⑫ 黄埔港				1							1			1
	⑬ その他														
合計					1		1				3	5		1	6

注) 来陽地域には来新支線, 許家洞地域には資許支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑬ 塩

(単位: 万トン)

着 地 域	発 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計
		① 衡陽以遠	② 衡陽	③ 米陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶関	⑧ 馬垵	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港	
①	衡陽以遠					2	2	1		1		6			6
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽														
	③ 米陽														
	④ 許家洞														
	⑤ 郴州														
	⑥ 坪石														
	⑦ 韶関														
	⑧ 馬垵														
	⑨ 旧横石														
	⑩ 新街														
	⑪ 廣州			1		3						4		1	5
	計			1		3						4		1	5
広州以遠	⑫ 黄埔港														
	⑬ その他														
合計				1		3	2	2	1		1	10		1	11

注) 米陽地域には米新支線, 許家洞地域には許家洞支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

付表2-1-1 衡陽・広州間貨物地域流動表(1982年)

品目: ⑭ その他

(単位: 万トン)

着 地 域	発 地 域	衡陽・広州間沿線											広州以遠		合 計
		① 衡陽以遠	② 衡陽	③ 米陽	④ 許家洞	⑤ 郴州	⑥ 坪石	⑦ 韶関	⑧ 馬垵	⑨ 旧横石	⑩ 新街	⑪ 廣州	計	⑫ 黄埔港	
①	衡陽以遠					13	24	7	9	9	182	244	5	241	490
衡陽・ 広州間 沿線	② 衡陽	14		1	3	2						6			20
	③ 米陽	11	2		1	2						5			16
	④ 許家洞	11	2	4	2	2						10			21
	⑤ 郴州	23	2	5	1	1						9			32
	⑥ 坪石	12	4	7	2	2						15			27
	⑦ 韶関	14	3	5	2	3						13			27
	⑧ 馬垵	13	2	5								7			20
	⑨ 旧横石	2		1	1	1						3			5
	⑩ 新街	4		1								1			5
	⑪ 廣州	70	7	37		10						54			124
	計	174	22	66	12	23						123			297
広州以遠	⑫ 黄埔港	31	3		1	5						9			40
	⑬ その他	40	10	10	1	1						22			62
合計		245	35	76	14	29	13	24	7	9	182	398	5	241	889

注) 米陽地域には米新支線, 許家洞地域には許家洞支線, 坪石地域には坪梅支線及び曲仁支線の輸送量が含まれる。

附表3-2-3 衡陽北・江村間基準運転時分表(直通貨物下り3400吨)

停車場			運転時分		停車時分	貨物扱	停車場			運転時分		停車時分	貨物扱	停車場			運転時分		停車時分	貨物扱
駅名	キロ程	駅間距離	計算基準 運転時分	查定基準 運転時分			駅名	キロ程	駅間距離	計算基準 運転時分	查定基準 運転時分			駅名	キロ程	駅間距離	計算基準 運転時分	查定基準 運転時分		
衡陽北	1746.8						(白石渡) 1953.1					(波羅坑)								
衡陽	1757.8	11.0	12.14	12.30		<input type="checkbox"/>	坪石北 1964.6	11.5	12.00	12.00		連江口 2157.6	10.4	9.54	10.00		<input type="checkbox"/>			
周家坳	1764.8	7.0	6.40	7.00		<input type="checkbox"/>	坪石 1966.1	1.5	3.11	3.30		黎洞 2170.8	13.2	12.34	13.00		<input type="checkbox"/>			
東陽渡	1769.0	4.2	4.00	4.00		<input type="checkbox"/>	羅家渡 1973.3	7.2	7.19	7.30	15分	鵝坑 2176.8	6.0	5.43	6.00		<input type="checkbox"/>			
赤水舖	1775.8	6.8	8.29	8.30		<input type="checkbox"/>	土嶺 1992.3	19.0	18.28	18.30		旧横石 2182.5	5.7	5.26	5.30		<input type="checkbox"/>			
向陽橋	1781.7	5.9	5.37	6.00		<input type="checkbox"/>	張灘 2000.4	8.1	7.45	8.30		昇平 2188.6	6.1	5.49	6.00		<input type="checkbox"/>			
西里坪	1788.0	6.3	6.00	6.00		<input type="checkbox"/>	樂昌 2004.3	3.9	3.43	4.00		港江口 2193.7	5.1	4.51	5.00		<input type="checkbox"/>			
瓦園	1795.7	7.7	8.09	8.30		<input type="checkbox"/>	長埭 2011.1	6.8	6.34	7.00		新湖 2198.5	4.8	4.34	5.00		<input type="checkbox"/>			
段家庄	1805.5	9.8	9.20	9.30		<input type="checkbox"/>	安口 2016.9	5.8	5.53	6.00		源潭 2204.6	6.1	5.49	6.00		<input type="checkbox"/>			
哲橋	1812.3	6.8	6.55	7.00		<input type="checkbox"/>	梅村 2024.5	7.6	8.27	8.30		迎咀 2210.2	5.6	5.20	5.30		<input type="checkbox"/>			
耒陽	1820.2	7.9	9.06	9.30	15分	<input type="checkbox"/>	黎市 2039.0	14.5	14.21	14.30		銀蓋坳 2217.5	7.3	9.04	9.30		<input type="checkbox"/>			
浪石坪	1823.5	3.3	5.03	5.30		<input type="checkbox"/>	黃崗 2043.8	4.8	4.53	5.00		朱朝市 2226.3	8.8	9.39	10.00		<input type="checkbox"/>			
小水舖	1832.8	9.3	8.45	9.00		<input type="checkbox"/>	韶関 2053.4	9.6	10.32	11.00	15分	軍田 2233.7	7.4	7.03	7.30		<input type="checkbox"/>			
公平墟	1844.0	11.2	11.34	12.00		<input type="checkbox"/>	山子背 2062.9	9.5	11.58	12.00		樂同 2240.6	6.9	6.38	7.00		<input type="checkbox"/>			
馬田墟	1858.3	14.3	15.45	16.00		<input type="checkbox"/>	馬壩 2068.2	5.3	5.18	5.30		新街 2245.0	4.4	4.11	4.30		<input type="checkbox"/>			
油市	1866.6	8.3	7.54	8.00		<input type="checkbox"/>	清風亭 2073.6	5.4	6.06	6.30		郭塘 2250.4	5.4	5.09	5.30		<input type="checkbox"/>			
捷風渡	1873.7	7.1	6.44	7.00		<input type="checkbox"/>	烏石 2082.8	9.2	8.46	9.00		江村 2253.3	2.9	3.49	4.00		<input type="checkbox"/>			
街洞	1882.1	8.4	8.40	9.00		<input type="checkbox"/>	大坑口 2085.8	3.0	2.51	3.00		大朗 2259.6	6.3				<input type="checkbox"/>			
許家洞	1891.2	9.1	9.05	9.30		<input type="checkbox"/>	高橋 2094.8	9.0	8.34	9.00		棠溪 2266.9	7.3				<input type="checkbox"/>			
郴州北	1899.9	8.7	9.56	10.00		<input type="checkbox"/>	沙口 2102.7	7.9	7.31	8.00										
郴州	1902.2	2.3	3.56	4.00	35分	<input type="checkbox"/>	冬瓜舖 2111.8	9.1	8.40	9.00										
槐樹下	1909.5	7.3	7.50	8.00		<input type="checkbox"/>	龍頭山 2117.9	6.1	5.49	6.00										
坳上	1917.6	8.1	9.51	10.00		<input type="checkbox"/>	河頭 2123.3	5.4	5.09	5.30										
良田	1927.4	9.8	11.25	11.30		<input type="checkbox"/>	莫屋 2130.8	7.5	7.09	7.30										
五岭	1942.2	14.8	14.20	14.30		<input type="checkbox"/>	英德 2136.1	5.3	6.06	6.30	15分									
白石渡	1953.1	10.9	10.19	10.30		<input type="checkbox"/>	波羅坑 2147.2	11.1	12.19	12.30										
合計														522分00秒	539分00秒	95分				
到達時分：634分 余裕時分：17分(余裕率3%)																				

印は1986年までの複線化部分完成駅間である。 凡例 貨物扱
 地区中心貨物扱駅
 一般貨物扱駅

